

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1－67）、MOX燃料加工施設（1－64）」

2. 日時：令和3年9月15日（水） 13時30分～17時25分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査専門職、森野安全審査専門職

日本原燃(株)

再処理事業部部長 他19名

北海道電力(株)

原子力事業統括部 原子燃料サイクルグループ 副主幹

東京電力ホールディングス(株)

原子燃料サイクル部 サイクル技術グループ チームリーダー

関西電力(株) 原子力事業本部 原子燃料部門 原燃計画グループリーダー

中部電力(株) 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和 2 年 12 月 24 日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html
- ・ 令和 3 年 9 月 6 日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和 3 年 9 月 7 日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和 3 年 9 月 10 日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	向こうも開始しました。それで進行のほう、タケダさんお願いします。
0:00:07	規制庁の武田です。それではただいまから、日本原燃株式会社とのヒアリングを開始します。
0:00:14	本日のヒアリングは例は2年12月24日に申請があった設工認申請について、
0:00:20	9月6日、7日10日に提出された資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:27	まず規制庁側の出席者紹介します。
0:00:31	すみません、本庁側の方消火よろしいでしょうか。
0:00:38	はい、規制庁込みです。規制庁本庁は湾の出席者はキシノカミデです。あと遅れてコサク調査官参加される予定です。以上です。
0:00:52	規制庁タケダです。ありがとうございます。先にWEBからの参加が、
0:00:59	それからねハバサキ、モリノタケダになります。
0:01:04	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と議題の構成など説明範囲として目標を説明お願いいたします。
0:01:16	日本原燃の藤野です。それでは日本原燃側の出席者を紹介いたします。
0:01:21	まず再処理のほうからナガサワとフジノ、それからMOXのほうからですね、タカマツタニグチ、イトウヤマダからの資料説明でミヤモトムラカミのトガシウラバヤシ、クドウスガワラの上オオダテ。
0:01:37	サガワaキクチ、ヨシダナカムラと電力さんのサポートとして関西電力さんにも、
0:01:44	本日はお願いしてあります。
0:01:46	それではですね本日は説明資料ですけど、今画面共有させていただいております。地盤の00関係の資料、それから地震の00関係の資料、あと耐震建物07番の資料を本日説明させていただこうと考えております。
0:02:00	それではですね、地盤の00の資料の説明から入らせていただきたいと思います。
0:02:11	規制庁タケダですのでそれでははい一番0001から説明をお願いいたします。
0:02:19	はい、人間のクドウです。地盤00-01ですけども、地盤の申請に係る基本方針についてまず別紙1と4につきましては8月18日のヒアリングでいただいたコメントを踏まえまして、内容を修正してございます。
0:02:35	また、別紙の23号につきましても、こちらに追加してですね、修正してございますのでご確認をお願いしたいと思っております。その中で特に地盤の極限支持力度の設定につきましては、前回リングでコメント。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:50	等を踏まえまして、詳細な算出方法や、物性値について補足すべき事項として抽出しておりますので、今後の準備が整い次第、補足説明資料として提出させていただきます予定としてございますが、追加の説明は以上となります。
0:03:08	規制庁の武田です。ありがとうございます。それと規制庁から地盤 00 について、ここに進めていきたいと思えます。これはまあ順番に、別紙の所に確認できればと思えます。
0:03:25	まず、別紙 1 から確認する。
0:03:28	ある方お願いいたします。
0:03:34	規制庁カミデです。一番、
0:03:39	この別紙 1 は特段確認するようなことはないんですけど、
0:03:47	屋外重要土木の扱いについてですね扱いというか定義について、まず耐震のほうで
0:03:59	話をしようかと思っておりますので、その話は地盤の担当者も聞いていただいて、こちらにも反映すべき言葉があると思えますので一緒に話を聞いておいてもらえればと思えます。私の方から別紙 1 については以上です。
0:04:17	日本原燃の宮本です。耐震設計の方も出席するようにいたしますのでよろしくをお願いします。
0:04:29	規制庁のタケダですその他別紙 1 について困りますでしょうか。
0:04:38	よろしければ杉井なんて別紙 M の囲みに進みたいと思えます。
0:04:44	名刺につきまして規制庁側から確認ありましたらお願いいたします。
0:04:55	規制庁カミデです。別紙 2 の方はですねまず、
0:05:01	通しの 14 ページなんですけど、ちょっと考え方を教えてもらいたいんですけど。
0:05:08	第 1 グループの添付書類における記載というところで、
0:05:19	SA 設備の話も書いてあって、再処理は、
0:05:26	重大事故関係は、あと次回でという話があったと思うんですけど、ちょっとここにこの記載があることがよくわからなくてどういう整理されているか説明してください。
0:05:42	はい。掛け目クドウです。第 1 回申請につきまして性につきましては、来さとしては、申請対象設備はないということで記載ちょっとこちらは、
0:05:57	記載の誤りとなりますので、以浅ちやい衛星の記載添付書類の SA の記載についてはちょっと削除したいと思います。以上です。
0:06:10	規制庁カミデです削除するだけじゃ駄目でどこに書かかっていう話だと思えますんですけどそのあたりもお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:25	SFAにつきましては、また 1 回/h記載は必要ないと思いますのでこちら削除 って後そのSM材につきましては、その横坑次回ですね。精製設備のところに 記載したいと思っております。
0:06:50	規制庁込みです。具体的に何ページのところですかね。
0:07:01	日本原燃です。次の 15 ページのですね、
0:07:10	第 3 グループですね、第 3 グループまたは 1 グループとも同一というふうな記 載にはしてございますけども、こちらについてはSA等あり、同じ両方並べてで すね書くような記載というふうにしたいと思います。以上です。
0:07:26	規制庁カミデすみませんちょっと聞き逃したんですけどイトウ 15 ページの第 3 グループっておっしゃいました。
0:07:34	今の制度の枠組み例目クドウですけど、今の整理できますと、第 3 グループS A設備に該当しますので、こちらにも添付書類のところに急いで前SAの記載 をしたいと思っております。
0:07:50	規制庁カミデです。15 ページでいうと第 2 グループのところでもう主要 4 建屋 ワーカーと
0:07:59	申請予定になっていて、当然前処理建屋とか分離した建屋っていうのは、その SAの発生が想定される場所でSAに対する話をここでしなきゃいけないと思う ので単にグループ、
0:08:15	なんじゃないかと思ってたんですけど、違いますかね。
0:08:19	日本原燃失礼いたしました。と題するグループもですね、SAの対処ございま すので、こちらのほうにSMといたしまして、第 3 グループでは、第 2 グループ と同じというような記載としたいと思っております。
0:08:34	規制庁込みです。
0:08:37	ちょっと、
0:08:38	どこに書くかっていうのを我々としては把握しているつもりなんですけど、ちょっ と担当者の方はこの別紙 2 の書き方をわかってないんじゃないかっていう今 記念が置いてきたんですけど、そのあたりどうなってますかね大丈夫ですか。
0:09:05	日本原燃の藤尾です。カミデさんおっしゃることもあれなので記載ちょっと迷う ようなところはですね事務局のほうでもサポートしながら、別紙につくり込んで いきたいと思っております。今たの統一性に関して記載ですね、どこに書くかも含め て調整したいと思っております。
0:09:24	規制庁カミデです。事務局としてのサポートっていうのはもうされてるはずで、 それをもとに今つくって、もう地盤の 0001 もこれR3 ですから、
0:09:40	もうかなり整備された状態で出てくるものと我々も理解しているんですけど、い まだに第 1 回で性が書いてあって衛星どこに書くかっていうのを間違えちゃう

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ような話だとですねなかなか資料を確認の時間がもう無駄だったなっていうことになるので、
0:09:59	きちんと対応して、遮へいで確認した資料を提出するようにお願いします。
0:10:12	日本原燃 6 条ですちょっと確認してしっかり苦戦します。
0:10:24	はい、規制庁カミデです。あとですね、別紙 2 でいうと 16 ページのところ、
0:10:37	第 1 グループより左側のところですね、添付書類説明内容っていうところで、一番上が 5.1. 5 許容限界で間があいて、2 ポツ、基本方針となっていて、ここは、
0:10:55	4-11 の基本方針すみません増えるけどカミデってちょっと音声途切れて、
0:11:03	ちょっとよく聞き取れないんですけども鮭あります。
0:11:09	規制庁カミデです。今は大丈夫ですかね。
0:11:15	以上です。大丈夫です。
0:11:18	はい。規制庁カミデです。別紙 2 で 16 ページなんですけど、
0:11:26	ですね添付書類構成っていう欄があって、最初に 4-1-1 側に、そのあと 4-1-1-2 の地盤の支持性能に係る基本方針というのが書いてあるんですけど。
0:11:42	ちょっとこの書き分けというか今せるも区切ってなくて、
0:11:48	スペースがあいていう
0:11:51	方針が二つ記載されているような感じなんですけど、これってどういう構成してるんでしょうか。
0:12:03	日本原燃工藤です。こちらにつきましては、七、八、九 項目番号でいう七、八、九 に対する対応する添付書類構成としまして、まず 4-1-1 の耐震設計の基本方針等、
0:12:19	4-1-1-2 の地盤の申請に係る基本方針こちら側両方ですね、対応するということで、同じセール内にですね並列するような形で記載してございます。
0:12:33	規制庁カミデです。そうすると項目番号の 78。
0:12:39	9 については、
0:12:43	日本の 1-1 の基本方針でも受けているし、4-1-1-2 の基本方針でも受けているから、これを併記して書いている、そういう理解ですかね。
0:12:57	日本原燃クロス、その通りでございます。
0:13:02	はい。起こりもし、そういう形で整理されてるっていうことで、
0:13:08	あれば、
0:13:10	了解です。
0:13:16	あと、別紙 2 の関係で
0:13:20	10、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:27	すいません。別紙 2 はこれで
0:13:30	アリーナの私のほうからは以上です。
0:14:01	規制庁カミデです私のほうは終わりますのでタケダ損進めてもらえればと思います。
0:14:09	ページのタケダです。その辺ちょっと音声が入り切れておりました。
0:14:15	それも影しに関係ございますでしょうか。
0:14:22	もう成長武田です。私の方からも言ってんかに県確認させていただきたいんですけど、14 ページ目の実施。
0:14:39	6 番号っていうと、4 番目。
0:14:44	耐震重要施設以外の建物構築物として、第 1 グループでは 04B の飛来物防護ネット、これが対象になっているかと思うんですけどねと使用表への記載がちり地盤の短期許容支持力度というふうになっているんですけど。
0:15:03	当社の建物に 13 の結果では基準地震動 Ss に対して極限支持力クドウ旧原子力で検討していたと思うんですけど、これはどういう整理で短期となっているのでしょうか。
0:15:24	日本原燃の工藤です。耐震重要施設以外ということで、こちらの項目番号で言いますと、9 番ですね、16 ページの 9 番には、それ以外の話で、
0:15:40	その施設につきましては、
0:15:44	短期許容支持力度を許容限界とってるというふうにしてございますので、使用表には、短期許容支持力度というふうな記載としてございます。
0:16:03	もう、規制庁、武田です。
0:16:06	今後の系統では実際に竜巻防護ネットの評価の中において、この短期許容支持力度
0:16:14	を使っているっていいのでしょうか。
0:16:19	はいその通りでございます。
0:16:21	日本
0:16:38	規制庁の武田です。
0:16:43	基準地震動 Ss の評価で発表影響による検討で用いた行っておって、今それに対して極限支持力で評価しているということだとは思いますが、それを考えて極限支持力も合わせて期待するという必要はないのでしょうか。
0:17:11	日本原燃クドウで少々お待ちください。
0:18:38	規制庁カミデですまた時間かかりそうだったらさっき進んだらどうかと思いますけどいかがですか。
0:18:47	規制の減肉を使って確認いたしますのですいません先に進んでいただけるとと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:54	規制庁タケダです。すいませんもう一遍確認してください。
0:18:59	16 ページのエコ当番女な
0:19:08	の第 1 グループで
0:19:17	申請対象、
0:19:20	設備が安全冷却水系冷却塔になった時許容支持力度となっているんですけど、これはたででしょうか。
0:19:29	なので極限支持力が無いんですか。
0:19:32	そうですね、こちらも同じように確認いたします。以上です。
0:19:37	規制庁タケダですね、ここにマスターの確認の方法をお願いいたします。
0:19:43	そのほか別紙については規制庁側からございますでしょうか。
0:19:50	うち、
0:19:51	ネットよろしければ、別紙 3 の確認に進みたいと思います。
0:19:55	別紙 3 につきまして規制庁側から確認ございますようお願いいたします。
0:20:05	規制庁カミデです。
0:20:08	まず、19 ページの補足すべき事項の欄で
0:20:15	地盤の支持力度ということで冒頭説明いただきましたけど、まず補足説明資料の番号は資料番号と対応がわかるようにという話をさせていただいたと思います。この資料はまだ出てきてないですけど。
0:20:32	補足番 1 っていう資料番号にはならないんじゃないかと思ってまして、まずその辺りになぜ対応してないのかっていうところを教えてくださいませんか。
0:20:58	日本原燃、工藤です。こちらのまち一番姿勢の 86° の設定につきましてについてというところにつきましては、補足番号 1 というふうにして、こちら別紙のほうの展開ベーシック停止後にもあるんですね。
0:21:14	この②のほうで来側板まあまあ 1 というふうにしてございます。こちらにつきましては、別紙 3 と別紙 5 ですね、番号の整合がとれているかと思えます。
0:21:31	以上です。
0:21:34	規制庁カミデです。私が
0:21:38	今言った対応というのは、
0:21:43	実際に出てくる資料番号と対応してますかということなんですけど。
0:21:48	今のお話だと別紙 5 読めば、どういう資料タイトルに出てくるかはわかるってことですかねちょっと該当する場をページ番号を教えてくださいませんか。
0:22:03	日本原燃工藤です。補足す。
0:22:07	耐震建物ウノ番目としてということをちょっとすみません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:14	はい、規制庁込みですそういう耐震建物幾つとかそういう形での対応をとって欲しいとお願いしてたつもりなんですけど、そもそもそれが理解されてないってということですかね。
0:22:38	日本原燃工藤です。
0:22:45	ですね、建物としても、付番ちょっとつけてます。ちょっと一度阿保でございます。
0:22:55	規制庁込みです
0:22:58	対応というかその辺の区別申し訳ございません聞き取りづらかったので、ちょっとお願いいたします。
0:23:08	規制庁カミデです
0:23:14	耐震建物幾つになるかっていうのわかるようになっていうのは、耐震だけじゃなくて全般としてお伝えしてると思うんですけど、事務局の方。
0:23:25	今日石原さんはいらっしやらないんですかねフジノ損でもと思いますけど理解されているかどうか教えていただけますか。
0:24:03	規制庁込みです私の発言聞こえてましたでしょうか。日本原燃どうですか。
0:24:10	日本原燃クドウで好きでございます。
0:24:16	谷埋クドウです。積雪が先ほどのオオオカ楽しんがですねちょっと取り上げて聞こえてございません。
0:24:26	規制庁込みです。今は大丈夫でしょうか。
0:24:32	はい、今聞こえてございます。
0:24:36	はい。
0:24:37	補足の例えば耐震建物幾つみたいな形で出てくるんですかというところはこの別紙2と別紙5の説明の中でわかるようにして欲しいとお伝えしたとお伝えしていたとっていて、
0:24:54	それは耐震だけじゃなくて全般そうだと思うんですけど、事務局の方はそういう理解をされているされているかどうか、説明してください。
0:25:07	日本原燃の藤森です。はい事務局としてはですね全体に方針を展開してまじよな記載になるようにちょっと進めているんですが、こちらの足りてない部分もあるのかなと、その対応について感じましたので、ちょっと地盤の資料を含めてもう少しこの
0:25:23	る定着するように確認したいと思います。
0:25:31	規制庁込みです。先ほど別紙2の書き方がわかってないようですね、共販のCもそうだし今の話もそうなんですけど、きちんと確認をしてですね、
0:25:45	そうルールを定めているはずなので定めたルール通りやられてるかっていうのはきちんと確認した上で

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:53	資料として出すようにお願いします。
0:25:57	日本原燃の藤井です。はい、岡本ですけれども、今日の資料も含めて確認させていただきます。
0:26:06	規制庁カミデです。その上でこの 19 ページにある地盤の補足説明資料についてですが、なかなかのスケジュールが見えてこないんですけど進み具合、進捗状況いかがでしょうか。
0:26:24	日本原燃クドウとしてこちらの資料につきましては、前段階のヒアリングを踏まえまして、資料の整理を今行っているところでございまして、今月中または来月は初旬ですよね。提出したいと思っております。
0:26:43	規制庁カミデです。
0:26:46	少なくともスケジュール表には項目は出していただいて、その上で、見通しを書き込むというふうに対応をお願いします。
0:27:03	日本原燃工藤です。承知いたしました。
0:27:13	規制庁カミデです。私から別紙 3 でもう 1 点、ちょっと書き方の問題なんですけど、33 ページにていただいて、
0:27:30	項目でいうと、3 点になり、3.3 なりというところで、
0:27:42	新生児科医のところ、六条及び 33 条にて記載で書いてあるんですけど、これって、
0:27:51	どういう考え、どういうルールで考えていて、こういう記載になっているかっていうその書き方の
0:27:59	ルールみたいなものを
0:28:01	教えていただけますか。
0:28:07	はい。日本原燃工藤です。こちら添付書類の 4-1-1 の任につきましては、地盤の支持性能を示すということで、こちら 5 条とですね六条両方跨った内容になってございます。
0:28:25	5 条の地盤としましては、基本的には恣意性の往診接地圧の評価でございまして、海進分担かかるその後状に関わるところとしましては、この 4 ポツ目でですね、地盤の支持力度とか、
0:28:42	そういったところが該当すると、0 この以外にも物性値の地下水の設定というのが耐震設計に係る絡むところがございますので、六条で整理というふうなイトウでこのような書き分けをさせていただきます。
0:29:05	規制庁カミデです。今の説明だと。
0:29:11	5 条で説明することはないということなの申し上げないですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:17	そうするとちょっと飛んで 36 ページを見ていただいて、36 ページの報道等、その 3 ポツ行くなり 3 ポツに記載 5 あってですね、工場は関係ないっていうのと、にわかに
0:29:34	関係ないということもなかなか理解ができなくてもう少し説明いただけますか。
0:29:43	農業面クドウです。
0:29:48	別紙の 4 の記載ですけれども、
0:29:54	議長ビジョンは、
0:29:57	示してございます。で御情報に関係するところは記載し、またその 6 条に関係するところはですね、備考欄に、一般の例えば 36 ページですけれども、前
0:30:19	関係、市内関連品物をコサク上は説明全体をまずお示しているというような記載してございます。
0:30:29	規制庁カミデです。すみません途中で音声途切れてしまったので今のご発言最初からもう一度お願いできますか。
0:30:42	本件がクドウです。別紙。
0:30:45	4 につきましては、全体ですね、4-1-1-2 も地盤の自然に関する基本方針をすべて示した上で、応答六条を地震日本に関連するところにつきましては備考欄に
0:31:02	例えば 36 ページの記載のように、全応力解析及び有効応力解析に用いる物性値後は地下水位の設定については、六条 27 条に関連するというような記載をしてございまして、時全体
0:31:18	4-1-1 のみをお示すようにして 6 条に関することは今削除する削除するようなことはしていないというような必須でございます。
0:31:34	規制庁カミデです。すいません。
0:31:39	そうするとこの 33 ページにあるこのシートの役割って何なんですかね。
0:32:22	日本原燃久保です。ちょっと 5 条と六条とですね共通的なところもございまして、こちらが 4-1-1-2、或いは 4-1-1 というところで、一方、5 条には該当し 6 条には該当しないと。
0:32:41	というようなところがあったのでちょっと我々としてもちょっと書き方については、ちょっと前のところがあるんですけども、今ちょっとルールに従ってですね、別紙 3 別紙 4 まで支援については、ちょっと地盤
0:32:57	号令の関連しないところがあるのであればそちら側の五条の整理としては記載しないとかですね、そういうふうな記載にですね改めた改めるような検討は期待したいと思っております。
0:33:14	規制庁込みです。今ルールに従ってとおっしゃったのでそのルールが、
0:33:20	どういうルールか教えていただけますか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:46	規制庁カミデです。日本原燃聞こえてますか。
0:33:52	はい、聞こえてます。日本原燃の渚野です。一応地盤の作成についてですね ちょっと二つの条文入りまじっていて、この得意な部分もある中でちょっと事務局の方とも調整しながらですね、この別紙 4 それから今の別紙 3 ですか。
0:34:07	全体見るような形で整理する当行記載するという対応で、今の調整してこういうふうに記載するということですね、ちょっと今のやりとりも踏まえてもう一度ルール前のような形で床レベルも確認しつつですねどう記載すべきかというのは調整したいと思います。
0:34:27	規制庁込みです。私の質問は、ルールがどういうですかということに対して、あまりそこを回答されず結果がこうなったんですという回答だけ、
0:34:39	いただいたと理解しています。ただ、今日ここでこれ以上聞いてもっていう形なので、
0:34:49	多分、
0:34:50	地震、六条側等合わせてみないと、その整理がわからないというようなこともあると思うので、
0:35:00	今、六条側の別紙 23 というのを少し予定より遅れて出てきて出てくると思いますけどその他Pに今日のこの地盤の資料とあわせて見て考えか説明できるのであればそういう
0:35:17	説明をするとかですね、してちゃんと説明できるように準備をしていただければと思いますので、よろしくお願いします。
0:35:29	すいませんマネジメントのカサモです。申し訳ありませんと昨日提出した耐震の 0001 の 213 ページで同じ添付資料で、別紙 3 の一定の展開してますので、今カミデさんがおっしゃった通り、
0:35:45	一つ耐震の増分と地盤の情報を一緒に見ないとわからない作り方といましてしまっています。
0:35:52	の状況です。現状です。
0:35:59	規制庁、上出です。
0:36:03	すいません内部の確認なんですけどタケダ酸素の資料って昨日受領されてましたっけ。
0:36:11	きちっと
0:36:13	異議と規制とあなただけがですね、昨日別紙 23 が切っております。
0:36:24	月曜日提出予定だったのが一人称空冷で昨日提出されたと理解しております。
0:36:31	規制庁カミデです。わかりました。じゃあそちらとあわせて確認してまたその六条側のヒアリングで話ができればと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:45	規制庁カミデです。別紙 3 については、私からは以上です。
0:36:55	規制庁タケダですとその他規制庁側から別紙 3 について確認してございますでしょうか。
0:37:05	惜しいですか。
0:37:09	すごい細かいことなんですけど、20 ページ目の
0:37:14	一番最後ですね。
0:37:17	2.1-3 の基本方針のところ、
0:37:23	最後が通るい
0:37:25	Tallいを言うという記載になっていると思うんですけども、これは行きそうだっていうふうな書き方に変えたと思っております別紙 1 とかそういうふうになっていたと思うんですけど、それは反映漏れでしょうか。
0:37:39	日本原燃工藤です。失礼いたしましたこちらは森ですので訂正させていただきます。
0:37:46	規制庁タケダです。これまたお願いします。
0:37:49	どのページにも関連してくると思いますので、マイクを変えればそれに関連するところは漏れなく修正するようにお願いします。
0:37:59	はい。
0:38:04	それが別紙 4 の確認の方に進めたいと思います。
0:38:09	別紙のものについて規制庁側から確認ありましたらお願いいたします。
0:38:20	規制庁カミデです。別紙 4 について 37 ページのところ、
0:38:28	マンメイドロックとかの改良地盤単位の記載があつてですね、
0:38:36	ここはあの解析用物性値っていう項目なので、その解析の物性値応答するかっていう話になっていてそれをそれだと思うんですが、そもそも設工認図書としてそのマンメイドロックをこういうふうな設計をしますとか、
0:38:53	会場地盤体はこういう設計をにしますっていうそういう設計方針を示すパートっていうのはどこに当たるんですけど。
0:39:48	日本原燃工藤です。少々お待ちください。
0:40:02	今の減肉ですこちらはですね、設計各地盤、地盤改良は改良地盤、マンメイドロックのですねまで性を示しまして、こちらの中での設計方針を示して、
0:40:19	いるというところでございます。
0:40:24	規制庁カミデです。今の御回答は、今のこの解析用物性値の説明でマンメイドロックなり地盤改良の設計がこういう設計にしますよっていうことを説明し切っていると、有効回答ですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:08	日本原電クドウでサガワのカミさんおっしゃってる出身はですね、ちょっと我々ちょっとまだ理解してもらおうのもう少し噛み砕いて説明を教えてくださいと思います。
0:41:22	規制庁カミデです。ここ 1037 ページの記載だとマンメイドロックと改良地盤の解析評価にあたってこういう物性値を使いますっていうことをがかわいってあるんですね。
0:41:37	項目としてもそれを各項目なんですけど、なぜその物性値を使っていいかっていうことについては、そもそもマンメイドロックをこうやって作りますこれぐらいのコンクリート強度のものをこれぐらいの大きさのものを作ります地盤改良はこういう工法で、こういう範囲に
0:41:54	施工しますっていうそのものの説明設計の説明があって、その上で、だからそれを受けて解析物性値はこうできるんですっていう説明だと思うんですね。今その後ろの部分の物性値の話だけ今ここで見えているので、
0:42:12	その前段の設計の説明っていうのはどのパートに書かれる予定ですかということ聞きしてます。
0:42:50	規制庁込みです。
0:42:53	音声届いてますかと。
0:42:56	今ので。
0:42:59	懸念の解消になりましたかっていう様方の質問なんですけどいかがでしょうか。
0:43:06	日本原燃のウノと申します。
0:43:08	聞こえますでしょうか。
0:43:12	はい、規制庁カミデです。聞こえてます。今こどもですね地盤の支持力性能につきましてはですね。接地圧以上ということで、MMRMMRがですね、MMRにつきましてはですね接地圧以上ということで、
0:43:29	この重々融合たPASCALちょうど
0:43:34	こと。
0:43:37	地盤改良等につきましては、
0:43:41	炉心或いはそうですね、ここのですね、
0:43:46	loss
0:43:49	は出てくる。
0:43:52	いただくというふうに
0:43:59	すいません。
0:44:00	今ちょっとマイクが入ったり聞いたりしてしまいましたけれども、こちらMMRにつきましてはですね日本原燃の小野でございます。MMRにつきましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:12	時対し設置圧に対しましてどれだけのちょうど有するかということでMRの強度を示してございます。で地盤改良等につきましてははですね、設計基本方針でノベルのとともにはですね、あと各
0:44:29	建屋或いはですね同等でこの材料が出てきたときに設計方針を示すというふうなことで考えております。
0:44:41	規制庁カミデです。その示すというのはその設工認申請全体の中で、本文なのか仕様書なのか、添付の方針なのか添付の計算書何とか図面なのかっていうのと、そういうところで、
0:44:57	そういう意味で、どこで示す予定ですか示すことになってますかということの説明していただきたいんですかよろしいですか。
0:45:14	日本原燃の宇野でございますが、添付の計算書のところでですね、示せば、示すというふうに考えております。
0:45:27	。
0:45:28	規制庁カミデです
0:45:32	計算書に初めて設計が出てくるっていうのをちょっと理解しがたいところです基本的には設計法で方針をうたってその方針のもとに設計されるはずなのに、方針が何も書いてなくて、
0:45:47	後ろで具体が出てくるっていうのはきちっと違和感はどっちで整理をいただきたいとまた一方で使用表のほうはですね、マンメイドロックの話はある程度書いてあったと記憶します別紙の
0:46:04	べしや共通 06 でしたかね使用表の検討されていると思いますけど、そういうところでここまでうたうという整理をされていると思うので、そういう整理が使用表で訴えます方針でこの部分で歌いますっていう、
0:46:20	回答があるものと思っていました。
0:46:24	いずれにしてももう少し整理をしていただいでですね、次回整理して回答いただければと思いますけど。
0:46:33	それでよろしいですか。
0:46:37	日本原燃のほうでございます。承知いたしました。
0:46:52	規制庁カミデです。続けて今度 39 ページのところですが、
0:47:02	39 ページで
0:47:07	6 ポツ 2 ですか。
0:47:09	2 これ冷却塔の話があって、
0:47:14	その場合以上冷却塔以外の施設をどうなのかっていうところなんですけど。
0:47:22	これを次回でという話なんですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:25	次回で何か示すのであれば、多分別紙 3 とかでですね、その旨が記載されると思うんですけど、別紙 3 なり、
0:47:37	の整理状況を説明いただけますか。
0:47:55	日本原燃スガワラです。別紙C案の方の見解としましては当地震 00 側のほうで、こちらの項目を展開しておりますので、カミデさんおっしゃる通り、
0:48:11	工事回位でですね、各その新生界における設備の記載がここに追加していくということで展開しております。
0:48:29	規制庁上出です。
0:48:37	あれですかさっきの 33 ページのところと 33 ページの一番下のところの 6.2。
0:48:46	のところで、これ 6 条とか 33 に飛ばしているところを今おっしゃっていて、
0:48:54	何か地盤の話がされてるんだと私は思ってるんですけどこれは 6 条の話ですとして六条見ればわかるようになってるってということですか。
0:49:05	背景とか、日本原燃そのものです。はい。六条側で別紙 3 のほうでこの部分を色覚申請開示の展開を記入しております。
0:49:21	はい、規制庁カミデですわかりましたじゃあそちらの方確認します。
0:49:25	あともう一つ最後に、39 ページのところと、
0:49:30	今回また書きとして、6.1 だとまた書きってということで、今回対象施設以外は当該施設の申請時においてという形で書かれてますけど、分割申請の場合の書き方をきちんと整理してくださいねと。
0:49:46	いうのもこれまで何度もお伝えしていて、
0:49:51	今回はその統一的なルールができたということで理解してよろしいんでしょうか。
0:50:34	規制庁カミデです。日本数年来ってますか、まさに本店のカサモですと、あと先日の火災のヒアリングを受けて、別紙 6 の
0:50:43	記載方法項目だけで次回申請にするものを、あと中身で次回申請にするものって記載方法その他調整中でちょっとこれまだ反映できてませんので、そこはちょっとルールを決めてしっかり反映したいと思います。
0:50:58	はい。規制庁カミデです。わかりました。まだこれはまた暫定版として入っているということで理解しておきます。
0:51:10	私の方から別紙 4 については以上です。
0:51:20	規制庁の武田です。
0:51:23	同じく 39 ページから 40 ページにかけてなんですけれども、
0:51:34	これ、液化化強度特性の代表性網羅性の性及び保守性ですね説明について記載をされておらずで、備考に記載していない理由が書かれてはいるんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:51	あまり理由になっていないような気がしているんですけど、備考の内容を改めて説明いただいてもよろしいでしょうか。
0:52:05	はい。日本原燃、工藤です。こちらの有効応力解析に用いる物性値が、代表性網羅性保守性でございますけれども、こちらにつきましては、検討の 41-1-2 号地盤の自然科学基本方針について。
0:52:24	ではってところで一つの概要に記載の通り、こちらの土地の 2 はどのような記載がするかというのが書いてあるんですけども、基本的な考え方を示すものですよという交流解析に関わる
0:52:41	一部の方向であるこの有効応力解析における物性値の設定の
0:52:47	詳細説明としても位置付けであって、こちらの記載につきましては、補足説明資料として整理するべきかなと思ひまして、こちらにつきましては、補足説明資料の地盤の申請内容についてというところで、
0:53:04	説明をするようにしたいというふうに考えてございます。
0:53:08	以上です。
0:53:12	凍ります補足説明資料で説明されるということでしたらちょっとそこを明確にしていたいただければなとは思ひて 2 まして、
0:53:23	もうほぼ国会については、
0:53:27	具体的な理由 RL 値とかを使って、具体的に
0:53:33	保守性とかを確認しているんだというふうな記載はあるんですけど、こっちで記載はしていて、今原燃では記載しないっていうのは何か位置付けで違いであるんでしたでしょうか。
0:53:47	日本原燃の
0:53:49	本当です。ちょっとわかりにくいかとは思ひんですけど、基本的日本原燃の場合の堆積物性値っていうのは、全応力解析のほうの物性値を明示しております、先ほどクドウからもお話あったように、基準は影響評価ということであろうかと思ひてますんで。
0:54:06	補足させて、補足説明資料に有効応力解析のページのほう修正だとか、計算結果といったものを持っていこうと思ひております。
0:54:21	それじゃあ、武田です。本当に御社平均栄光全応力解析が主体になるということで、そういった位置付けの違いがあるということで、こういうふうな関係を上げないということは理解しました。
0:54:33	の耐震た抵当も補足説明資料では具体的な説明があるということは備考に記載をいただければと思ひますので、そこはよろしいでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:44	日本原燃の工藤です。40 ページのですね、備考欄の一番最後でも記載にですね、確認結果につきましては、補足説明資料として説明すると記載がありますけれども、こちらはよろしいのでしょうか。
0:55:02	議長タケダです。はい、すいません、見落としました。これで大丈夫です。
0:55:08	意思確認以上になります。
0:55:12	その他規制庁側から別紙 4 がございますでしょうか。
0:55:15	規制庁カミデです。先ほどのやりとりを
0:55:22	ちょっと聞き逃してた部分もあるかもしれないんですけど、有効応力解析については補足説明レベルですと、いう話をされたかと思えますけどまたその話って、きちんとどう考えるかっていうのは説明いただいていないと認識していますけどそれでよろしいですか。
0:55:42	日本原燃のみMとりあえず前回のヒアリングですね、どうどうについてはそれでいいっていう患者さんから御意見いただいているんですけど、今まさしくやってくる営業日品についてもちょっとどういう方針でいっていかっていくのはまだ今日提出するかと思うんですけど。
0:55:59	その解析パラメールのケースとか、そういったもしも規制庁タンクをちょっと見に行ってから、この辺はちょっと書きたいと思っておりますんで、その辺はまだちょっと決まってないという認識でおります。
0:56:13	規制庁、カミデさんの労働は大丈夫っていう話も結局はその耐震建物の 13 とかできちんと話を整理した上で、その考え方で、確からしいかどうかっていう話になると思いますので、
0:56:32	いずれにしても、きちんと耐震建物 13 なりで考えを説明して
0:56:40	認識力合わせられればと思いますのでよろしくお願いします。
0:56:46	日本原燃のミヤモトです承知しました。多分来週と名刺に別紙 3 辺りを耐震化というものを 13-2 のヒアリングで
0:56:57	そこら辺のちょっと方針も話を規制庁さんの方とお互い認識把握できればと思っております。
0:57:32	はい。
0:57:34	規制庁込みです私のほうは以上です。
0:57:40	キシノです。ちょっとあの
0:57:43	先ほどやりとりのあった記載ルールに関連して確認ですけど、この別紙 4 って右から 2 列目の記載のところご印南線とか、二重下線があるんですけどそれぞれの河川の示す意味というのは何を意味してるのでしょうか。これ精緻に凡例があります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:00	血糖な店について説明がありますがそういう意味で使われているという理解でよろしいのでしょうか。
0:58:12	2 件目クドウです。すいません、こちらについて判例波 1000 年りの幅野線の幅の凡例がなくて申し訳ございません。この店につきましてはですね、真ん中の申請、10 月 24 日申請から補足すべき事項ということで、
0:58:28	町側の補足捕捉する内容のところにアンダーライン南線押ししてございます。また青字はですね前回のヒアリングからコメントいただいて修正した内容となっております。
0:58:48	20 個線はどういう意味なんですか。
0:58:53	日本原燃クローズ二重下線がですねプランとこういふふうに我々が再処理のでこういふのをAものというふうに火災というふうになってございます。
0:59:13	はい、とりあえず送りましたこの機会ですから、今もうこの別紙 4 た条文での別紙 4 もこの統一ルールで火線立てる強調したりしてるんでしょうか。それとも、この地盤 002、今のところとりあえず特化した形で使われてるんですかね。
0:59:30	日本原燃クドウですこちらは全条文共通のルールとなっております。
0:59:35	はい、わかりました。もう共通でこの方針でも固まっているということで、判例なり何かですね説明のほう超えておいていただくようお願いします。
0:59:53	設置キシノです。聞こえましたでしょうか。
0:59:58	本件目黒ですか。すいません承知いたしました。はい、よろしく申し上げます。以上です。
1:00:09	規制庁の武田です。次の別紙 5 の確認に進みたいと思います。別紙 5 にしています。規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:00:34	規制庁タケダですね、他二名信号からはないんものと言ったりしました。
1:00:42	当地震 0 でのについては、これで日本なりますが、
1:00:48	全般を通しての確認等規制庁がございましてでしょうか。
1:00:55	よろしいでしょうか。
1:00:57	よろしければ日本原燃の方から修正方針等を
1:01:02	影響ないとは思いますが破壊力の発言がなかったか確認をお願いいたします。
1:01:11	日本原燃久保です。ちょっと先ほどですね別紙 2 のところでまた皆さんもこれはわかりました。商標のところなんですけれども、こちらの資料表 2 で説明が極限支持力度の大きさがありますので、
1:01:28	こちらですね別紙にもですね。商標局極限支持力度ですね、短期許容支持力度を併記する形で記載するように修正したいと思いますがいかがでしょうか。
1:01:42	規制庁の武田です。わかりました。それで結構です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:47	はい、ありがとうございます。引き続きですね、修正更新でございますけれども、全体でですね、今補足説明資料として必要な極限支持力度もですね詳細な物性値の
1:02:03	御説明につきましては、今回番目ですね耐震建物を幾つという判を示しておりませんでしたので、こちらにつきましてはスケジュールに落とし込んだ上で見直しを見通しもですね。
1:02:20	示せるようにしたいと思っております。
1:02:24	。
1:02:27	はい。
1:02:28	あと、
1:02:31	一般経費箇所の記載、
1:02:34	いろんなその下層段
1:02:39	等へ向かって失礼しました。人間のクドウです。ONRにつきましてはですね前MMRとオーバー目6でございますけれども、材料における設計の本方針をどこに示すかといった商標とつたコアだとかと共通06とかですね。
1:02:55	そういったところを踏まえまして、基本方針を書くべきところを明確にするように修正を理事会ですね説明できるようにいたします。
1:03:07	以上だとスキーム情報でございますけれどもでございます。葉っぱの発言はありませんでした。以上です。
1:03:17	今のタケダです。ありがとうございます。はい、それでは地盤00001については以上とさせていただきます。すいません。規制庁カミデです。対応項目のうち、まず別紙2をですね、ちゃんと
1:03:32	SAを行動の次回で書くかとかですね、その辺はきちんとルールに従って分割申請どこで攪拌停止に別紙3をきちんと整理するようにお願いします。
1:03:48	日本原燃クドウ失礼いたしました修正方針としまして追加いたします。別紙いいのですねえ性に関する記載につきましては、適切な位置に記載とまたルールを明確に明確にしてですね、そのルールに従った、記載E-Eしたいと思います。以上です。
1:04:10	はい、規制庁カミデです。あのSAIは00であって、分割申請に係るということなので、ご承知おきください。よろしく申し上げます。
1:04:21	日本原燃クドウで生じます長期化しました。
1:04:30	規制庁のタケダですね等では地盤0001以上とさせていただきます、続きまして、失礼地盤0002ですね、確認したいと思います。
1:04:43	こちらについて補足で説明する内容もしくは01との違いですとか、そういった点を踏まえて説明いただければと思いますので、お願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:00	電力のです。地番 0.0
1:05:05	ですけども、
1:05:07	説明
1:05:11	すみません。
1:05:13	はい。
1:05:18	説明あごません。
1:05:22	はい。
1:05:23	町のタケダです。それでは日勤時間 0002 について規制庁側から確認ありましたらお願いいたします。
1:05:34	規制庁カミデです。
1:05:37	02 のほうはほとんど 01 再処理系反映すべきもの反映してもらうということではもう
1:05:46	あんまり順繰りに国にしなくてもいいかなと思っていて、ちょっと確認何点か確認したい点を刻々にします。
1:05:55	まず別紙 2 なんですけど、13 ページのところで、細かい話なんですけど。
1:06:08	添付書類の説明内容ってところが
1:06:11	2 ポツ 2 ポツ 1(4)から(4)という形であるんですけどこれ最初に見ると、括弧三番から書いてあった実施してですね、そういう倉庫が幾つか見受けられます。
1:06:26	気づいたところとしてはこの 13 ページであったり、あと 23 ページの記載も再処理の当該箇所と比べていただくと、あれ何か違うなっていうところがあると思いますので、違うなら違うで何か。
1:06:43	今後理由を説明いただければと今もうすでに違いがあるっていうことについて、理由があれば説明いただければと思いますけど特にないのであれば確認の上、対応していただきたいということなんですけどいかがでしょう。どうですけども。
1:07:03	すみません日本でも含めてですけども、あと最後ちょっと浅部届いてなかったの、もうちょっとすみませんがよろしく願いいたします。
1:07:13	はい、規制庁カミデです。
1:07:16	13 ページの添付書類説明内容のところ再処理だと(3)番から始まっても数は(4)番と。
1:07:26	ということで、ほかにもですね、23 ページとかだと、再処理とMOXで記載の違いがあるんですけど、今の時点でわざと何かいいと思って違いをつけているのであればその点説明してください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:46	日本原燃工藤です。こちらにつきましては特にイトウはないんですけども、今まさにですね、別紙 1 登録上の地震ですね、書き分けをしながら、6 条の記載の報告資料ですね。
1:08:03	こちらのほうに展開しながらというふうにしてございます。今まだまさに今作成中のところですね、こちらに反映したものですから、ちょっとですねそちらの修正の状況の
1:08:19	ないようなですね一致していない。最初になると一致してないと、あと地震後一致しないというところがございますので、こちらにつきましてはですね。六条側と協調しまして、一般の記載をですね 1 させるように修正させていただきたいと思えます。
1:08:36	規制庁カミデです。やっぱりました。
1:08:40	あともう 1 件 37 ページなんですけど、
1:08:54	4.1 で一番下、なお書きでMMRについては、手はあるんですけど、
1:09:03	MOXの場合って、このMMRって何何ようでしたっけ。洞道動で使ってるんですかね。だから書いてるってことですかね。
1:09:21	日本原燃の藤本です。洞道のほうで 2 分の 1SD解析っていうので。ええと解析を行ってましたので、この物性値を書かせてもらってます。
1:09:37	規制庁込みです保振りしました。そういうことであれば、
1:09:42	お立ちの方から
1:09:46	02 については以上ですけどまあいずれにしてもまた再処理がまた直ってくるので、それでまた再処理とMOXの対応だとか、あとは摩耗複数特有の記載がちゃんとできてるかというところは引き続き
1:10:05	確認の上修正対応いただきたいと思えます。以上です。
1:10:11	日本原燃工藤です。最初リードいただきましたこの等もですね、こちらのMOXのほうにも反映して修正したいと思えます。以上です。
1:10:30	規制庁タケダですその他は 0、当地震地盤の 0002 について確認でございますでしょうか。
1:10:39	キシノですすいません 1 点だけ確認なんですけれども、先ほどの地盤 0001 の方、その 0002 でいきますと 39 ページに備考欄に
1:10:51	記載があつてまた以降の規制については先ほど少しやりとりがあつたかと思えますけども、ペットの補足説明資料として説明するというのでこの青字で書いてある内容についてはまだ我々説明を受けていないという認識なんですけど、
1:11:06	これはいつぐらい説明があるイトウちゃんなんですけど先ほど皆さんおっしゃったように来週ぐらいっていう中にこれも含まれているという理解でよろしかったですでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:16	日本原燃の宮沢です。先ほど認識補正というのはあくまでもこれは補足資料にするかどうかということで、これ室出せるかっていう話なんですけど今、4Bの有効応力解析をしているかと思えますんで。
1:11:31	その結果等の設定例敷地全体ですね、液状化が保守性を行っているっていうデータを切羽の資料自体もできるんですけど、結果とあわせて説明したほうがいいと思ってますんで、9月中に結果を出すということなんでそこで資料が出てくるかと思えます。
1:12:02	そのキシノです。
1:12:04	ちょっとよくわからない。ここに青字で書いてある補足説明資料で出すというわけではなくて基準オオオカの結果に絡めて出すということで、まず補足説明資料上の位置付けもはっきりしてないのかなっていうふうに理解しましたが、
1:12:20	結果としても、参考資料としてはミヤモト結果キシノ参考資料としても出しますし、この補足資料としても、両方出そうと思ってます。
1:12:30	キシノです。はい。わかりました。それで言うと高圧も次出る液状化の結果とあわせてっておっしゃったんですけど、以前からたびたびですね、その結果は全部、全部というか結果がそれを待っても数を必ずしも求めていなくて、
1:12:47	方針とか方法に係る部分について出せる部分については別途早めに結果とあわせてなくても、説明したほうがよいというようなことを申し上げたと思うんですけれども、そういう
1:13:03	方針ではないということでしょうか。
1:13:07	日本原燃の見劣りする治療値ではもうできているんですけど、それだけがちょっと独り歩きすると、ちょっと交流解析の結果とあわせて大きく依存の不安に説明したほうがいかなと私は感じてまして今そういう発言をさせてもらったんですけど。
1:13:24	生み出した方がいいということであれば、もう来週にでも出させていただきます。
1:13:38	規制庁コサクです。今の話は、キシノから今言った話ではなくてですね。
1:13:46	随分何週間も前から前の審査会を前からかもしれませんが、
1:13:54	状況をちゃんと伝えてやるようにということは言っていてですね。
1:14:00	本件でそちらがその結果の時にといった最初にもそうではなくて申し上げたはずです。
1:14:08	にもかかわらず、
1:14:11	方針を変えないということ。
1:14:14	今説明がもっとあってですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:18	そうなのであればなんでそうなのかということをちゃんともっと前に方針として伝えていただかなきゃいけないですし、
1:14:27	その上で今日この話をしたときに、そうであればという
1:14:34	ただ言われたから出しますとかっていうのもよくわからないんですけど。
1:14:40	原燃全体として一体何人を考えてどう進めたいと思ってるんですか。
1:14:48	すいません。新しい日本原電の宮本ですけど、先ほどちょっと打診をしているだろうという弱点要望があると私もヒアリングに同席しましたんで、してやる必要性については感じておまして、8月中にはまとめておったんですけど。
1:15:06	何となくここだけ、これだけの資料がですね、独り歩きしてだねてしまうんですね、何か結果等を設定いたし出さないとこの物性のカワラサキとコサクです。ところが一応コサクですできないんじゃないかとコサクでそういった発言してコサクです。聞こえますか。
1:15:27	超えてもらう。
1:15:28	何度も同じことを言わなくて結構ですけど、であれば最初にちゃんとかいうふうにして出したいと言わなきゃちょっとおかしいじゃないですかということをお願いしてるんですけど、ミヤモトさんの意見ではなくて、マネージャーとしての意見を言ってください。
1:15:43	どなたが今日マネージャーで出てます。
1:15:58	雨水に励みベースが一応私管理職になるんでということをやっと私が発言をちょっとうまくいかなかったんだと思うんですけど、最初の担当のコサクさんおっしゃる通り、下崎に説明しないまま、
1:16:13	コストコ今改めて説明したところがちょっと反省点だと思ってますと、これからそういうことはないようにしたいと思います。
1:16:23	はい。規制庁コサクです。
1:16:26	ミヤモトさんはマネージャー側だということであれば、ちゃんと考えて事前にちゃんと聞いていただきたいということなんで、今後よろしく願いますんですけど、もう一つは、時向かつ事務局側ですね。
1:16:44	不フジノさんはいらっしゃいますけどその上の方今日だれがいいのかわかりませんが、そちらのほうもヒアリング全体の調整とかあるんでしょうから、そこでもちゃんと認識合わせをしていただかないと困ると。
1:16:58	ということだと思います。
1:17:03	データが独り歩きとかっていうのも独り歩きすることはまずなくてですね。
1:17:10	そもそも皆さんは十分なものをこれまで1度も出した実績がないので、
1:17:17	抜き出せないんですよ。僕らが
1:17:20	なので

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:22	皆さんの結果が出たときにちゃんと一緒になって歩けるように、
1:17:27	十分な情報かどうか、十分な情報整理をしているのかどうかの状況を見させてもらわないと、とてもじゃないけど結果出したときに私たち議論が一緒にできませんと。
1:17:39	というのがこの半年ハンド9ヶ月ですね。
1:17:42	いう状況だったというのをよく自分たちで認識してですね。
1:17:49	十分な狩猟整理になっているのかっていう確認をしたいとは思わないのでしょうか。
1:17:56	そろってから意識やるのでっていうんだったら申請取り下げで再申請指されても結構ですけど。
1:18:04	そういう工程皆さん出していただけないので、
1:18:07	であればということで申し上げます。
1:18:09	今からでも改めて整理してからちゃんとした。
1:18:15	数字が出せるまで説明を押さえて改めてやりたいと言っていただければ結構なんですけど。
1:18:27	そういうのがはっきりしないままぐだぐだやられるのが非常に困るんですよ。
1:18:33	なので
1:18:36	どういう方針で進むのかで、これまでの言っていたような方針でやるんだったら、ちゃんとまとめてとかっていうのではなくてず順じ整理しているところ、追加でまだできてないところはこういうことをやろうとしてますと、
1:18:52	いうことそれがいつまでにどういう順番でやっていきますと、
1:18:55	ということがわかるように提示をいただきたいと。
1:18:58	ということですけど、
1:19:03	ここまでの話をした上でどうされますか。
1:19:07	日本原燃長沢でございます。この話はですね以前からも指摘をされておりましたオオハシ事務局長としてですね、各関連部署に対してはまず結果を待つのではなくて、評価のやり方、或いは、
1:19:23	方針稟議がこういったところをまずお示しをしてですね、考え方が十分であるかというところを議論いただきたいということで、各部署にお伝えをしております。その辺がですね少し部門によって一枚岩になってなかったと。
1:19:39	いうところの、今答弁だというふうに思いますので、改めまして、事務局の方でですねそういった対応徹底するようということで責任者の方に申し上げたいというふうに思います。以上でございます。
1:19:53	規制庁コサクです。わかりましたよろしく申し上げます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:58	ご存知かと思えますけど今日午前中に規制委員会の方で本件の進捗というのを、
1:20:07	報告をしております。そう。
1:20:10	伴委員の方からは何でこんな状況が
1:20:15	許可まで受けた事業者なのに、
1:20:18	続いているのかと、甚だ疑問だというような感じのコメントがあって、一体何が問題なんだというところであったんですけど。
1:20:32	に設工認として明確に申請において
1:20:39	整理をしておかなければいけないことを検証しておかなければいけないこと、それをまとめなきゃいけないものというものの認識が全然できていなかったと。
1:20:50	いうことでここまで長期化していると思っています。そこを改めて言われなくてもできるという状況にしないといけませんし、
1:21:05	今回の今の今までの話については、とは言っても何も言わないで、電力の支援だけで綺麗にできていないという状況でもあるので、
1:21:19	本件についてはしばらく相談会的にでも見させていただいて、認識が合うようにということで対応しているところです。
1:21:28	このやりとりをですね、ずっとやり続けようとは思ってませんので、今回そのやりとりを続けていく中で明確どこまでやらなきゃいけないのかということがわかったところで特に第2回以降ですけど。
1:21:47	そのときには申請時にはしっかりとまとめて提示いただくと。
1:21:52	いうことをしないとスケジュールとしてもですね全然見通しが立たないどんどん泥沼にはまっていくと。
1:21:59	いう形になってしまいますから、このタイミングでしっかりと対応をとるということを肝に銘じていただければと思います。よろしくお願いします。
1:22:12	日本原燃長沢でございます。承知いたしましたやはりですね我々がみずから考えてどういう資料出していくどういう検討技術的な検討すべきかというところをみずから考えるになるというのが、
1:22:30	我々、
1:22:35	検証。
1:22:37	含めてですねそれあとしてきています。なお、所入りたいというふうに思います。引き続きよろしくお願いいたします。以上です。
1:22:48	規制庁コサクです。すいません。今の我々といった後からですね多分うちの電波が悪かったんだと思うんですけど、うまく聞き取れなかったので、大変申し訳ないんですけど、もう一度言っていたいただけますでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:09	よろしければ、当案件の方から出火規制庁コサクです。規制庁コサクですいたします。
1:23:17	聞こえますか。
1:23:19	規制庁コサクです。聞こえますか、今聞こえています。
1:23:23	その前に私言っ
1:23:25	たやつは聞こえてないんでしょうねきっと。
1:23:31	原燃の説明がこちらで聞き取れなかったのもう一度言ってくださいっていうのをお話したんですけど。
1:23:43	これは聞こえていますか。
1:23:51	テーマという技術的な説明を展開していくかということを電力支援者の投資も含めてですね結果として、やはり
1:24:05	4件、
1:24:12	技術的支援で考えてですね対応していきたいというふうに思っていますけれどもございます。
1:24:25	あれ、すいません、日本原燃なさるございますが、おりますでしょうか。
1:24:30	規制庁コサクです。大変申し訳ありませんが、今のも、
1:24:34	その通路切れてしまっていてですね。原燃として技術力を高めて電力の支援を受け、
1:24:45	対応していきますという
1:24:47	部分ぐらいしか聞こえなかったんですけど大枠としてそういうことだったというのでよろしいですか。
1:24:55	はい、結構でございます。追加するとすれば、その状況ですね、社内で議論できるというような体制も含めて今検討しているところでございます。以上です。大丈夫でしょうか。はい、規制庁コサクです。今のはクリアに聞こえましたので、全体わかったと思います。ありがとうございます。
1:25:21	規制庁タケダですでは 00 地番 0002 よろしければ抽選防止のカッコ 2 会場からの確認をお願いいたします。
1:25:34	日本原燃工藤です。まず修正方針でございますけれども、基本的な構成として、再再処理の地盤 0001 と同じですので、再処理でいただいたコメントを反映して資料に修正いたします。
1:25:50	また、別紙 2 と別紙 3 でございますけれども添付書類 2 の記載につきましては、再処理とで相違があると、またあと地盤地震のほうと、そんならないですね、当記載を合わせるような形で、資料の体裁をしっかりと整えていきたいと思えます。
1:26:08	あとマスキング情報については発言はございませんでした。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:15	制度案タケダです。ありがとうございます。
1:26:19	は引き続き地域制度自身 0001 です。
1:26:25	こちらは提出されているのが別紙Cだけかとは思っております。
1:26:32	決めては、地震 001 について下のほうから説明をお願いします。
1:26:39	はい。日本原燃のスガワラです。
1:26:42	こちらの資料につきましては、前回までのコメント、特に前回カミデさんのほうから大きく六つということでコメントを受けておりますのでそれらを踏まえた修正のほうを行っております。特に今回別紙 1 ですので、
1:27:00	もつのうちの資料の書き込みの囲みいいについてのコメント反映が
1:27:08	もということもね、記載の充実。
1:27:17	精査、それから許可の聞き取りも含めて、番号による紐付けのほうを追加しております。また語尾の統一や各種吹き出しによる説明の充実を行ったものとなっておりますので、ご確認をお願いいたします。
1:27:37	きっと規制庁タケダです。ありがとうございます。それではこの資料につきまして規制庁側から確認ありましたらお願いします。
1:27:50	規制庁カミデです。まず先ほど全体の対応事項ということで前回の湖面とこここれこれ対応しましたっていう話だったんですが
1:28:03	その前分割申請の書き方はまだ対応中ということで、
1:28:10	まだ整理中ということをだっと思ったのでそれ以外の部分について、理屈っぽくにしていこうと思っておりますので、
1:28:20	まず 6 ページの冒頭のところでですね、3.1. 1 というところに記載があって、
1:28:31	当社の記載ということで、オレンジで吹き出しありますけど、
1:28:36	何というか、これ。
1:28:38	他の条文ですね、例えば溢水とかでも、溢水の条文に対応させるために、設計こういう設計とするみたいなことを特に変えてなくて、これって耐震だけ書いてるんじゃないかって思うんですけど。
1:28:54	そういう意味でこれなんて書いているかっていうのを説明いただけますか。
1:29:12	オオハシまで少々お待ちください。
1:29:27	日本原燃のスガワラです。
1:29:30	すいませんここがこの記載につきましては、すいません最近のちょっと他の条文の動向も踏まえましてちょっと検討させていただきたいと思います。
1:29:46	はい、規制庁カミデです
1:29:49	今回その吹田Cの中身をいろいろ変えたりとかっていうのは、対応いただいているんですけど、こういった形でちょっと検討が甘いついていうか中身をもうちょっと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	見まないといけないんじゃないかというところがありますので、そういった点でもまた見直しが必要と。
1:30:08	いう段階だと思っていただきたいです。
1:30:12	続けてですけど、
1:30:17	次のページの(1)というところで、
1:30:22	ここでもですね、
1:30:24	今、実用炉等、
1:30:27	並びを見ると、
1:30:30	ここに(1)に各内容っていうのがそごが生じているんですけど、
1:30:38	(1)に何を書かかって言うところをどういうふうに整理しとか、説明いただけますか。
1:30:48	日本権カスガワラです。
1:30:50	(1)に記載する内容としましては基本的に許可からの展開を受けて記載しております。プロの方と記載している順番などがですね。異なっているところは、
1:31:08	認識はしておるんですけども、基本的に同じ内容はですね、許可の記載の通りの順番で農地の方に記載をしておりますので、そういった意味で強化の構成を踏まえて整理したというふうにしております。
1:31:34	規制庁カミデです。許可の方針とあわせてということなんですけど。
1:31:42	例えば許可で言う国庫位置がないし、
1:31:46	っていうことでそれともなかなか紐付けに確定ですね。もう少しこの
1:31:53	(1)で何を書くだっていうのを、
1:31:56	もうちょっと整理いただいたほうがいいんじゃない整理説明できるように構成を考えていただいたほうがいいんじゃないかと思えますけど。
1:32:07	いかがですか。
1:32:10	日本関連のスガワラです。かみさんおっしゃっておられたの許可の(1)というのは、評価の6の(1)のことかなと思うんですけども、こちらの内容は設工認のレポートの中で掃気つきの内容も取り組んでおりますので、
1:32:30	ないわけではないというふうに考えております。
1:32:38	規制庁上出です。
1:32:42	許可のファンのちょっとよくわからないんですけどあれですかね、許可の、
1:32:47	1.6. 1.1 に対応する事項を
1:32:53	すべて(1)に書くだとそういうことですか。
1:33:01	はい。そうですね。日本原電スガワラです。はい許可のそうですね 1.6. 1.1
1:33:10	あと今回は今回といいますか、次のページでSAの部分も、その次になる記載がございますので 1.6. 2.1 で、こちらは一番最初ですね、耐震設計の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:27	一番根幹となる起点となる部分ですので、こちらを(1)のほうに記載しております。
1:33:37	規制庁カミデです。
1:33:41	1.6. は許可の、
1:33:45	相当Yの部分といつつですね。
1:33:49	いきなり7ページに一気になりSAが入ってきて、そのあとまたDB。
1:33:57	ほかあり、今度10ページでdぽつでまたSAって形で
1:34:05	これはこれで許可の整理とか基準とも合っていないしってところがあるし、そもそも(1)にDBとSA時を崩壊前書くべきなのかということもあると思いますので、そのあたりもう少し記載を整理いただければと思います。
1:34:26	日本原燃のスガワラです。(1)は全体を記載する礎だととらえておりますのでこれは発電炉のほうも同様ですけれどもSAPもTBDも両方各章だということで、
1:34:42	とらえております。ちょっと全体にもう再度確認をした上で、フジノは今の考えで整理はしているんですけども、確認をした上で、必要に応じてですね。
1:35:02	検討させていただきたいと思います。
1:35:05	規制庁カミデです。今説明された考えっていうのは、1ポツは全体を書くんだっていう考えしか
1:35:12	なくて、それはそれでいいんですけど、じゃあどう書くかって言うところが全然整備されていないなと思っています。括弧Aだと
1:35:23	DBがあって7ページ学校も国内でこれポツの
1:35:28	内数なんですかね、経営はESADBミックスbポツは、dBcポツdBABポツ1ポツはSAAで記載そろえてますと言われてもよくわからないのできちんと整理をしてください。
1:35:49	日本原電スガワラです。はい。と整理させていただきます。
1:35:56	規制庁コサクです。今の整理に入ると思うんですけど。
1:36:02	全体で言うべきことは何か、そのあとここに言うべきことは何かという整理学なんだと思います。
1:36:12	現状で言うとはよくわからないなと思ったのは、一番簡単なのだと6ページの③と言っている。
1:36:21	発電炉で③で書いて下側に送っているところに、
1:36:25	重要度のクラス分類が書かれていてですね。
1:36:30	分類しますという大方針があるから、その分類に応じた設計が後段で書かれると。
1:36:37	ということで炉ではここで書いてるなと思うんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:40	何もそういう考えの整理なく単純にPなどへといって、P7 で書いているところ。
1:36:49	なんですけど、その前のページとか見ていくと、もうすでに比べSクラスはBクラスはCクラスはとってしまっていて、
1:36:59	分類ごとにやりますというのをちゃんと言わずして、単純に現状だと耐震重要度に応じたという一般的な用語だけで済ませていって展開されているってこのので。
1:37:11	これも並びがとれてないと。
1:37:13	思います。
1:37:15	そういったところを一つ一つちゃんと見てですね、どこで何を書くべきかと全体で
1:37:22	上流から下流へといったところの記載というのをよく整理をしていただければと思います。よろしくお願ひします。
1:37:32	ほい4 弁でそのままです。はい。そういった観点でも検討させていただきます。
1:37:44	規制庁カミデです。続きとして11 ページにfポツがあつて、
1:37:52	ここにあるのがいいのかつていうところも
1:37:55	整理をいただければと思いますけど。
1:37:58	内容として、
1:38:02	屋外重要土木構造物、洞道の扱いをこれまで何度も話をきてきてですね、
1:38:12	今回直つた部分でいうと、耐震安全上重要な機器配管系の
1:38:21	間接支持機能もしくは遮へい機能の維持を求められる土木構造物ってあるんですけど。
1:38:28	こうなると、BクラスとかCクラスを支持する、特にCを指示する。
1:38:35	どうどうどうっていうか、屋外重要土木構造物というないっていう認識になるんですけどそれでよろしいですか。
1:38:47	日本原燃の宮本です。今のカミデさんの認識で合つてるかと思ひます。
1:38:54	規制庁込みですとかにもそうすると、
1:39:02	48 ページですかね。
1:39:10	はい。
1:39:20	規制庁加味されると48 ページで、
1:39:25	真ん中国庫Bクラス及びCクラスの屋外重要土木構造物ということの設計方針が書いてあることが矛盾してるといふことなんですけど。
1:39:37	どういふ日本語源ですすいません訂正させていただきます。先ほどSクラスのことだけではなくてですね、すみませんbとcも入つていふD括弧あとCクラスのSs といふ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載してあります。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:52	クラスが入ってますすみません先ほどの
1:39:56	ちょっと訂正させてください。
1:40:02	規制庁カミデです。
1:40:06	今の説明で全くよくわからなくなったんですけど、
1:40:13	やらなくて、日本原燃の丁寧に御説明します。ええと遮へい性能維持を求められているのは、Sクラスになりますということと言うと、あと、あと、機器配管系の間接支持機能っていうので、BクラスⅡのものもあれば、
1:40:33	ノンクラスのCクラスのものもあるというような、ちょっと整理をしております。
1:40:39	規制庁カミデです。11 ページの
1:40:43	耐震安全上重要な機器配管系のって書いてあるので、耐震安全上重要なBクラスCクラスが存在するってということになるんですけどそれで。
1:40:58	そういう説明ですか。
1:41:10	日本原燃の湊です。その通りで、私のすみません最初の冒頭の説明がちょっとまずかったと思うんですか皆さんの理解でいいかと思えます。
1:41:19	規制庁込みです
1:41:22	なかなか理解できてなくて耐震安全上重要なCクラスっていうのがよくわからないんですけどどういことですか。
1:41:48	すみません。日本のみならず、すみませんちょっとかみさんが心配されている耐震安全上って言うのは、我々は右°Cも入っていると思ってたんですけど。
1:42:02	皆さんの理解としてはSsだけじゃないかっていう理解でしょうかと規制庁カミデです。私の理解としては、耐震安全上重要な機器耐震安全上重要な配管というのは、耐震クラスSクラスに分類されると思ってます。
1:42:32	日本原燃の宮尾です。わかりましたかみさん外としていることがここで書いてあるのは、やはりちょっと冒頭言った通り、Sクラスのものだけを指してます。
1:42:47	それで 44 ページのBCの話についてはAとBクラスはBクラスに従って設計をやるということとしクラスはCクラスで設計をするといった考え方を述べさせてもらってます。
1:43:02	規制庁カミデです。今の御説明で資料に書いてあるそのままの状態にとりあえず戻りましたと。
1:43:09	その上で、
1:43:13	そうなると報告会
1:43:16	屋外重要土木構築物っていうのは、11 ページだと、Sしかないんですけど今説明になるんですね、年目すみません困難さしてしまって申し上げますと、そういう理解です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:29	そうなると、規制庁カミデですけど、そうなると、48 ページの主語がBクラスCクラスでも、屋外重要。
1:43:38	土木構築物になっちゃっているので、おかしいですよという前段ではSしかないはずなのに、後段でなぜかBもCも入ってますということになっていて、結局どういうことかっていうと、
1:43:52	耐震工認ガイドとか、実用炉の整理も見習ってですね、重要なものは屋外重要土木構築物でそれ以外の労働は土木構築物でやりますっていう形でちゃんと重要度に応じて2に二段階に分けてですね。
1:44:10	それぞれ設計方針を書くのが、簡単だし、東りがいいんじゃないですかとそういうことを私は申し上げているつもりですけど、国会でもありますので予約理解できました。ありがとうございます。そういうふうにかかせていただきます。48 ページ目のAとBクラス及びCクラスをこれ 10° クドウ動物については、
1:44:30	基本的に増える話の話だけで儲けてるだけなんで、ちょっとそこがわかりにくいというツガネがわかりにくいということなので、書き上げて次回までこの資料提出したいと思います。
1:44:44	はい。規制庁カミデです。わかりましたけどよろしくお願いします。
1:45:02	規制庁カミデです。他にですね
1:45:07	14 ページなんですか。
1:45:12	右下発電炉のほうのオレンジ色の噴きどCの特高炉
1:45:22	ですかね、重要度分類表本文事項にしないのに何ですかってこれも前から聞いている話で、
1:45:30	結局今回も吹き出しのナカガワ結果こうしますっていう話しかなくてですね、説明して欲しいなんでかっていうのがないので、なぜこうという整理としたのか説明をお願いします。
1:45:52	日本原燃キクチ注水すいません当庫ぜ。
1:45:56	以前最初の説明させていただいたときにどう施設の個別具体が出てくる部分については、添付資料の中で展開させていただきたいというところで今、
1:46:08	の
1:46:10	今回としましては、イトウ添付書類のほうの重要度分類の基本方針の中で展開するという考えのもとにつくっておりましたので、その理由を記載についてはその旨わかるような形で修正させていただきたいと思います。
1:46:31	はい、規制庁カミデです。
1:46:34	ここにもいうことがわかるように書いていただければと思いますけど、もう一度その流量っていうのを今こういう施設の個別具体の説話みたいな名称はみたいな話だったと思いますけど、今の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:50	考え方をもう一度説明いただけますか。
1:46:59	日本原燃きっちりすると。
1:47:03	基本設計方針の中に行きましてはイトウ施設共通の方針大きな大枠の方針です ね、について記載した上での添付書類のほうで個々の設備。
1:47:17	を展開していくという考えで倒壊等基本設計方針等添付書類のほうの作成を しております。以上です。
1:47:28	これ、
1:47:57	規制庁コサクです。今言われた方針は、
1:48:01	大枠としての方針としては理解できるんですけど、一方で、必ずしもそうではな くて、定性的にちゃんとその適用性が方針として説明ができる記載ぶりができる のであればと。
1:48:16	ということなんですね。
1:48:18	そう、そういったところを踏まえて実用炉の場合は、重要度分類の適用の仕方 ってというのは漠とした表現だけでは適用性がはっきりしないんだらうというこ とで表でちゃんと
1:48:34	分類表をつけて適用性を本文として明確にしているということだと理解をして いたんですけど、その運用等再処理で何が考えと施設が多くなってるんです か。
1:48:53	日本原燃吸収する際に今おっしゃっていただいた通りの運用と再処理としてそ この
1:49:01	部分の差は全くございませんっていうところでは、
1:49:06	確かに
1:49:08	本文の中で、
1:49:10	高額示したうちで重要度分類の中身が説明できるっていうのであれば、地下 に記載でも、
1:49:19	いいのかなっていうところはあるんですけども、仰られた通り施設の全体を示 した上でっていうところの話になりますと、イトウ露頭と同様に
1:49:33	今の基本設計方針の中でも、
1:49:36	まず回年が述べられた上でじゃあそれはどう展開されてるんだっていうところ をお示しすべきかなというふうに思いましたので、ちょっとこの
1:49:48	展開の仕方を参考にして、こちらのほうも見直しをする、していきたいと思いま す。
1:50:03	はい、規制庁カミデです。よろしくお願いします。
1:50:10	あとは市の方を 30 ページまで飛びますけども、
1:50:25	30 ページの一番。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:28	左上の吹き出しで有効応力の話が
1:50:33	あってですね。
1:50:35	今日からの変更点という形で書いてますけど。
1:50:40	これもですね。他のところで書いてるみたいに事業変更許可ではもっと大きな方針として、二つているというところだと思うので、そうそこと、
1:50:56	まずは、この程度しか今日本文には書いてないけどと言った上で、こういう説明を入れてもらうってということで基本的には今日の範囲内、ここにもひもづくものですよという形ですべて見足りないところを見直していただきたいと思えますけど、よろしいですか。
1:51:18	日本原燃の湊です。承知いたしました。
1:51:28	規制庁カミデです。
1:51:32	あと次 45 ページに飛びますが、
1:51:38	規制庁側のことさこれまでの間に何かあれば適用割り込んで
1:51:44	いただければと思いますので、よろしくお願いします。45 ページですけど、
1:52:04	規制庁カミデですと、具体的には 46 ページのほうがいいかもしれないですけど。
1:52:10	常にイトウン等DBが同じ。
1:52:16	檀で書いてあってですね。
1:52:18	45 ページの格好ええで建物構築物で
1:52:27	一方ⅡというのでSクラスの建物構築物と。
1:52:32	いうところから始まって
1:52:35	46 ページ六法つでPCというのは
1:52:42	SAって形なんですけど、これは、
1:52:45	こう分けたほうが読みやすくなるんじゃないかと思えますけど、1 個でしょう。
1:52:56	日本原燃のスガワラです。
1:52:59	おっしゃる通りかなと思う。終わります。今のこの構成はですね発電炉の構成になってですね、同じ大きな項目の中に、前半部分、
1:53:18	dBとあとSAまあ両方
1:53:23	その並べて書くという構成に発電炉のほうはなっておりましたので、ちょっとそれを参考にしたというところではございました。
1:53:40	規制庁カミデです。発電炉と並んでると言われてもなかなかここから持ってきましたみたいな形で並んでるような感じもしないですしない。
1:53:52	並んでいるような感じもしないですがいずれにしても、
1:54:00	移動がDBはあに

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:04	後SAのほうが混合の方とかとかは両方みたいな形でわかりにくいので、整理いただければと思います。
1:54:17	日本原燃蘇武です。はい、検討させていただきます。
1:54:33	規制庁、上出です。
1:54:38	次に、55 ページですが、
1:54:53	55 ページのcポツですか、地下水の影響のところで、
1:55:00	これも、
1:55:01	何度か確認してるんですけど。
1:55:07	地下水排水設備の書き方だとかあとは、
1:55:13	発電機で基準地震動Ssに
1:55:16	による地震力に対して機能維持の機能維持が可能な発電機って何ですかって話をずっとほったらかしにした状態で今日まで来てるんですけど、今の整理状況いかがですか。
1:55:34	日本原燃スガワラです。こちらはちょっとまだホールドということで訂正がちょっと残ってしまっているというところは認識はしてもですけども、中身の説明はですね今月末、の予定で今、ちょっとその資料のほうを準備していると。
1:55:54	いう状況となっております。
1:55:59	規制庁カミデです。あれですか、点線がホールドだっているのもなんかあんまり凡例になかったようなのでその辺は、
1:56:09	示してもらった上で、できれば、どういうことを考えているとかいつぐらいまでに話をするとか、例えば耐震建物の 13 の説明に応じてやりますとかそういう進め方、今後どうなるかっていうことが、
1:56:27	イメージできるように書いていただけるとこちらの資料の確認も楽になるのでそういった形で対応いただければと思います。
1:56:38	はい、日本原燃スモールですはい承知いたしました。3 例は、実は冒頭の 6 ページのところに入れておいたんですけども。ただ今ほどおっしゃっていただいたように、今後どういう拘束で決名
1:56:53	取る予定だとかってところの情報をこの 55 ページのところに入れるようにさせていただきます。
1:57:03	はい、規制庁カミスやっぱりましたすみません 6 ページの凡例をきちんと読めていなかったです。
1:57:10	続けて確認しますが 56 ページのところ、
1:57:19	(6)で緊対が書いてあって、何で緊対だけなんですかっていう話なんですけど、確かに許可でも、ここを発電動に倣ってみたいな形で緊対の話が書いてあるんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:35	他に書くべきものを、例えば同じようなものでいうと、保管庫なんかがありますし、その辺どういう考え方で書かれているのか説明いただけますか。
1:57:49	日本原電スガワラです。ここの(6)で緊対側の特出しされているところをつきましては、当課の発電炉さんも同様なんですけれども、
1:58:05	条文として顎流量のその緊対っていうのが別条文であるということが気になってるのかなというふうに認識しております。
1:58:21	規制庁カミデです。そうするとまた今度制御室もっていう話になってきて、
1:58:30	ちょっとわからないところがあるので、この辺り知見のある方に聞いていただいた経緯と聞いていただいて考えを合わせてですね。
1:58:42	例えば新設でこういうものとか、何か今おっしゃられたように新設で条文要求のあるもの。
1:58:52	っていう整理なのかもしれないですけど、もう少しカッコの経緯調べていただいて説明いただけるとそれで話が終わるかなと思いますので、ちょっと確認をお願いします。
1:59:07	青い営業日ねスガワラです。はい、確認させていただきます。
1:59:17	規制庁カミデです。私の方から
1:59:21	とりあえず以上です。
1:59:28	規制庁タケダです。その他手帳側から確認ございますでしょうか。
1:59:39	よろしければ日本原燃の方から宍道一0701について修正方針と開示情報の発注元の架空をお願いします。
1:59:51	日本原燃のスガワラです。
1:59:53	まず等々の経営六条 33 条に適合といった記載がまた常磐にないというところでしたのでその辺りは整合を図っていこうと考えております。また、一番最初の(1)に記載すべき内容についても、
2:00:11	クラス分けの考えは必要ないのかっていうところも御指摘ありましたので当検討させていただきます。それからクラス別表を添付とする理由のところについても記載の拡充、
2:00:29	ではないですね、ウノの構成も踏まえて本文に記載する方向で検討するというのと、あとは有効応力のところのきだCについて、事業許可で大枠では、
2:00:49	を書いていたということも少し記載を拡充すると。
2:00:54	それからの許容限界関係のところの機会が今SAとDBが同じパラグラフの中で並んでいるんですけれどもここは章立て分けるといいうもう少し読みやすくということの整理をさせていただきます。
2:01:11	あと地下水関係でホール増となっていると部分につきましては、他のいついつごろその補足で説明予定といった、もう少しを加えると、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:24	あと最後に緊対上のその位置図記載がどういう位置付けで入ってるかということの過去の経緯を確認させていただき、いただきます。不開示情報の発言はございませんでした。
2:01:41	あとすいません、ちょっといい意見抜けてましたね閉等労働関係でここが重要度ごとくとあと屋外土木の使い分けというところも検討の上追加させていただきます。以上です。
2:02:00	規制庁の掛川です。それでは地震 0001 の確認内容とさせていただきます。
2:02:12	いや重心 00 の全銀格好になるんですが、
2:02:18	こちらについて、01 と比較して間違いとか、
2:02:24	ありましたら、そういった天災ながら説明をお願いいたします。
2:02:30	日本原燃の伊藤です。それでは地震 000 に関わる 49 月 7 日提出している資料について御説明したいと思います。
2:02:41	基本的な構成については、再処理と最初の記載となっております。
2:02:47	その中で間違いとしましては、
2:02:51	先ほどから話になってます屋外重要土木構築物ですと、そちらのほうで機械基礎がMOXがないとか、そういったところの記載の除いております。
2:03:01	あと、Km限界とで記載しております運転時の異常な過渡変化ですねそういったことも許可のところでもないということで、政府もくそもについては記載してございません。
2:03:14	あとどうどうについてはMOXものについてはBクラスでして、弾性設計用地震動 2 分の 1 の地震力で記載する評価する場のこれは機器用の機器の評価の※の解析なんですけども。
2:03:31	そういったところを記載するとといったところの違いがございます。はい。他違いは以上になります。
2:03:41	規制庁の木田です。それではこの資料につきまして規制庁側から確認あればお願いいたします。
2:03:49	規制庁カミデです。12 ページのfボツのところ再処理の反映がされれば直るとは思うんですけど、その屋外重要土木っていうのをそのSクラスの関係のもの、
2:04:05	するのであればMOXの場合は、普通の土木構築物っていう事に直ると理解してますけどそれで認識合ってますかね。
2:04:14	はい。日本原燃そうですねのカミデさんのおっしゃる通りかと思っております。
2:04:27	続き審査の同じく 12 ページにちょっと関連してなんですけど、先ほど同等でMOXの場合は、固液区域層等がないのでそれを反映してるっていうご説明だっ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	たんですが、ちょっと念のための確認なんですけれども、12 ページをスポーツの中で、
2:04:43	構築物についても説明はないんですけど、MOXで例えば燃料加工建屋の排気塔なんかは、これは構築物に該当しないという理解でよかったですか。
2:04:58	日本原燃伊藤です。愛知等に関してなんですけれども、Pa建屋の張り出した基礎から立ち上げているといった構造になっておりまして、MOXではこれをきっちり書いて機器のほうに当たるのかなというふうに整理しておりまして、
2:05:16	廃棄等も記載除いておりました。
2:05:20	復習ですわかりました。ではそれも含めて、MOXのほうでは構築物に該当するものはないということと理解しましたそのあたりってあるんですかね今後別紙9とかその辺りのその分類で分類が明確に
2:05:36	それのか、何かを見ればそういった分類との説明がされるのでしょうか。
2:05:44	はい。とにかく無限の一応ちょっと国の考え方については、ちょっと整理したいと思います。
2:05:52	うちの再送りましてまだちょっとそこで見通しが立ってないということかと思えます。また後日改めて確認したいと思います。私から以上です。
2:06:06	規制庁カミデです。当MOXのほうはほか、
2:06:11	あんまりないんですか何点か 49 ページ。
2:06:18	で、
2:06:20	一番下の注ポツで、これも堂々の話なんですけど、そのBクラスの道道っていうのをわざわざ書く必要があるのかと思ってまして、基本的に
2:06:37	再処理の場合って炉と違って炉は各項目建物を聞き、土木構築物っていう、3段構成でやっていて再処理は、基本的には建物構築物に土木入っていて、
2:06:52	建物と機器っていうのは二つの書き分けなんだと思ってますそのときに、
2:06:58	内容が建物構築物と同じであれば、わざわざ等々の書き込みはしないということだと思うんですけど。
2:07:06	この 49 ページの 1 ポツの内容は特出しすべきものに整理されるんですかね。
2:07:18	日本原燃の伊藤です。少しちょっと今のカミデさんの込まれまして、
2:07:24	必要かどうか判断したいと思います。いらぬようなお進みますのでちょっと記載のほうについては、
2:07:32	修正したいと思います。
2:07:36	規制庁カミデです精査いただければと思います他にも同様なところあるかもしれないので、
2:07:44	そういった三つ目で見いただければと思います。
2:07:49	あと、細かいほうのCDSが 52 ページの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:56	真ん中より下の 2 ポツ(口)ってところがあるんですけど、これは、
2:08:03	MOXでは
2:08:06	代替する安全機能のSっていうのはなかったんじゃないかと思えますけどこれはあれですかね、再処理をよく見過ぎたってことですかね。
2:08:20	はい。日本原燃伊藤です。すいません。
2:08:24	ちょっと他んところについては除いてるつもりだったんですけども一部残ってるのかかかかと思えます。その特性は大体する設備であって使わないので、ちょっと記載のほうの削除したいと思います。
2:08:39	規制庁カミデです前段のところとかではちゃんと抜いていたと思うので、作業漏れだと思いますけど、自分でも言いましたけど再処理が変わるについてMOXもまた変わってというところなので作業漏れがないように、確実に
2:08:56	対応いただければと思いますのでよろしく申し上げます。私のほうからは以上です。
2:09:07	それから、
2:09:08	規制庁キシノですけど、すいません一つ聞き忘れてまして、ちょっと戻ってすみませんが 32 ページをお願いします。
2:09:18	上の方、青文字の文章の 1 行目から始まるパラグラフの記載なんですけれども、
2:09:27	こちらの方、ちょっと読んでいくとですね、4 行目否定できない場合は、そのさらに規模基本条例下に影響考慮する場合はということで、ちょっと場合分けが 2 回出てきて、ちょっと条件を絞り込んでいるような
2:09:46	ように思えるんですが、そこでようとしているのは先ほど説明のあった受診 0001 でも 2930 ページでどう同内容と思われる記載があったと思うんですが、その記載とちょっと変わっていて、
2:10:04	何か条件を絞り込むような考え方とか、何か記載を書き分けた理由というのがあるんでしたら教えていただけますか。
2:10:15	日本原燃伊藤です。すいませんちょっと修正が追いついてないのかかかかと思えます。基本的に再処理と設計は同じ条件になると思っておりますので、
2:10:26	こちら記載にしたいと思えます。
2:10:29	キシノです。わかりました。
2:10:34	52 ページ、32 ページに限らずですねちょっと他のところでも自分自身 0001 と見比べて、記載を使い分ける必要がない部分についてもちょっと起債襲ってないようなところもあるかと思えますので、
2:10:50	そういったところについては

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:53	整合をとることもですねちょっと検討いただきたいと思いますので、あわせて検討のほうをお願いします。
2:11:00	日本原燃伊藤です。すいません、ちょっと確認ができなくて申し訳ございません。
2:11:07	されてると違くないところについては同一の記載するように、
2:11:11	ちゃんと確認していきたいと思います。
2:11:15	はい、よろしくをお願いします。キシノから以上です。
2:11:21	その他規制庁側から確認ございますでしょうか。
2:11:27	よろしければ、南限の方から
2:11:31	この市における修正方針と不開示情報の確認についてお願いします。
2:11:37	はい。日本原燃伊藤です。先ほど説明しましたあの地震の 0002 の資料ですけれども、まず
2:11:47	すね建物構築物の定義のところですけども、こちらのほうについては再処理にあわせて見直していきたいと思います。アットマーク層の中で廃棄等の分類ですかね、そちらのほうについても、考え方を整理すると。
2:12:02	ただこれとも対応したいと思います。
2:12:05	あと道道関係で 48 ページのほうで、Bクラスの盤について伝えバーツましたけれども、3 本については見直しをしたいと思います。
2:12:18	はい。主なところは以上かと思います。
2:12:24	はい。
2:12:27	規制庁の武田です。赤字情報は特に発言はなかったでしょうか。すいません。はい、他条項の発言はありませんでした。失礼しました。
2:12:36	規制庁の武田です。わかりました。
2:12:40	それでは地震 0002 の確認をさせていただきます。
2:12:46	その氷のですね確認する資料が新建物 07 になるんですけど、時間としては、今 2 時間も過ぎているんですが、保証書一旦休憩を入れますと、日本原燃いかがでしょうか。
2:13:08	。
2:13:09	日本原燃ナガサワでございます。体制はできております。
2:13:14	してそのままでもいいというものもあるんですが、そこはそちらのご都合に合わせたと思います。いかがでしょうか。
2:13:25	規制庁タケダですと、生徒組合長
2:13:30	規制庁カミデです。まだもう少しかかりそうなので一旦休憩入れましょう。
2:13:36	NUL流させて了解しましたよろしくをお願いします。
2:13:40	規制庁の武田です。それで今 15 時 45 ですので、16 時再開でお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:50	4 年了解しました。
2:13:54	では 16 時にお願いします。
0:00:00	規制庁の武田です。それではヒアリングを再開したいと思います。
0:00:04	次の確認資料は耐震建物 07 になります。御社につきましての下のほうから説明をお願いいたします。
0:00:15	日本原燃の井上です。本資料につきましては、本部については前回コメントいただきました記載がフローのところばかり大体といったところを適正化いたしました。別紙 2 に関しましては、
0:00:33	クレーン室の壁について直下地盤でやり直したものとあつちからもコメントいただきましたアーク練習の天井スラブ、こちらについても直下での応答の結果というのを載せております。
0:00:46	まず最後に参考資料についてですがこちらについては燃料加工建屋の解析について、こちらの直下に差し替えたもの及び分離建屋のシミュレーション解析、こちら前々回 A からコメントいただいた内容について、
0:01:03	修正したものになっております。以上になりますよろしく願いいたします。
0:01:10	はい。
0:01:12	委員長のタケダだと思います。それではこの資料につきまして規制庁側から確認事項二倍ありましたらお願いいたします。
0:01:22	規制庁カミデです。私の方からの中身というよりちょっと体裁の話をしたいんですけども、
0:01:33	表紙にあるようにですね、
0:01:37	河川の
0:01:39	青の下線であったり、点線河川などでは－1 回 2 回を書き分けてというふう
0:01:50	に、この資料はなってるんですけど、
0:01:50	今最近こうできいろいろ資料を作っているものと比べるとですね、この資料の書き方っていうのは特異なものになっていて、
0:02:02	特に工事課のものについての書き方表し方っていうものを全体と合わせてですね、少し、少しというか、
0:02:14	体裁を内変えなきゃいけないというか、他に合わせてですね、修正をなきゃいけないと思うんですけど、その他日本原燃本当でしょう何か考えている。
0:02:30	異なりこちらのイトウ、これで伝わりますかね。
0:02:38	日本原燃の上で性
0:02:41	コメントのイトウに関しましては承知いたしました。
0:02:46	例えばです。
0:02:49	執行 17 ページとか、18 ページとか、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:54	この第 1 回申請以外の
0:02:56	こちらについては、そして表みたいなのが載っておりますけれども、他の資料ですとグレーハッチングとかして、次回に示すみたいなのそういう対応のほうでおりますので、工事開始申請に係る
0:03:12	部分についてこの附属資料等を見比べて整合とれるように、
0:03:19	文章の含めて修正したいと思います。
0:03:24	以上になります。
0:03:26	規制庁カミデです。
0:03:29	なかなか医師イメージを合わせるのが難しいなと思っていてですね今 17 ページとかって話がありましたけど、
0:03:37	26 ページ 27 ページにもうまとめ表のようなものがあって、
0:03:46	何かこう全体のまとめ全体のまとめっていうよりは
0:03:53	燃料加工建屋で評価してる部位に抜け漏れがないっていうことを多分確認しなくちゃいけないって、そういう意味で、
0:04:06	何かこういう全体の表があってもいいなと 2627 ページ私今見ていってるんですけど、何かこの全体を見渡してのものがあってもいいんじゃないかと思う一方を例えば 28 ページとかだと。
0:04:22	時海進性のもも書いてあって、点線が引いてあると、点線下線が引いてあって、ていう 28 ページみたいところは非常に見にくいなと思って他のところと違うなと思っているところです。
0:04:40	また、
0:04:46	15 ページのフローもですね、
0:04:50	何か点線と実線がまざっていてよくわからないなというところもありますし、とは言ってもその 15 ページのフロー自体は半全体のものとして、第 1 回示さなきゃいけないものだと思うんですけど。
0:05:05	ここの点線の
0:05:08	使い方とかもう、よくわからないと。また 14 ページ、一つ前の 14 ページとかでも、
0:05:18	細かい話が第 2 回以降の細かい話が記載してあってこういうものは、他の収納と書いてなかったというかなり簡略して書いてあったりということだと思うので、ちょっとな並びを見てですね、
0:05:35	直していただければと思います先週やったばらつきの資料も同じような意図で伝えているんですけど、全体見通して、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:46	第1回申請で説明すべき項目は何かということ整理した上で、工事開始申請オオオカと並びをあわせて書いていただくということだと思いますので、少し検討をしていただければと思います。
0:06:03	日本原燃のL承知させ、承知いたしました。
0:06:08	1078 ページでしたいとか、2627 ページみたいな、全体を俯瞰して見えるものについては、
0:06:20	とりあえず、
0:06:23	こういうものを載せておいて、文章についてはおっしゃるように
0:06:28	第1回の目標がごちゃごちゃ出てくると見づらいというところは承知いたしますので、こちらの文章のほうについて消すかそれ全体をもう網掛けしてしまって、
0:06:43	なりの対応のほうを行わせていただきたいと思いますけれどもいかがでしょうか。
0:06:51	規制庁カミデです。今おっしゃっていただいた文章の網掛けっていうのは、それはそれで読みにくいかと思しますので、それぐらいであればケースなりですね、これについては次回示すっていう書き方がいいかと思します。
0:07:09	表については1718とか26ページぐらいの表は、今回申請のものを左側に寄せてですね、後ろはこうなってますと、
0:07:22	というので、その燃料加工建屋である程度これが代表的に説明できるんですよっていうのを今回示したいのであればやっぱりこういう表が必要かと思しますので、そういった目的があるのであれば、表である程度示していただくということかなと思します。ちょっと抽象的
0:07:42	話になってしまってますけど、ちょっと検討いただければと思います。
0:07:49	はい。日本原燃井上で承知いたしました。文章のほうの
0:07:55	第1回に絞った書き方のほうにさせていただいて、表については御全体を俯瞰して見えるような形にさせていただきたいと思します。
0:08:04	また15ページのフロー図の件もあったんですけども、こちらちょっと評価対象部位の抽出の
0:08:14	に係る部分と、実際にそのあとの影響評価に係る部分でちょっと点線の青点線がそこがあれですね、もう
0:08:25	目次の青点線が代行次回とかそうふうにかかって同じ点線使ってしまったのでちょっともう少しわかりやすいようなやり方のほうに修正させていただきたいと思します。以上になります。
0:08:41	はい、規制庁カミデです。よろしくお願ひします。
0:08:45	あと今年から最後ですけど同じく前回、先週のばらつき等を同じように、機器配管系との繋がりにっていうのとなってますかっていう話なんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:58	15 ページのフローで
0:09:03	15 ページのフローだとここで表現してるってということなんですかね。
0:09:12	日本原燃の 5 分の上です 15 ページのフローで
0:09:19	海自慢右列の真ん中の三次元的な応答特性に対する
0:09:26	評価対象部位のところからフロー図で破線が延びて機械化系への影響検討という形で伸びておりますので、それについて、の文章中での
0:09:46	説明なんですけれども、36 ページのところの(2)のところに書いておりますので、こちらにつきましては
0:09:57	前回の号機連さんのヒアリングの中で、建家エアーからの機器の影響というところについては、いわゆるウノを切れんののをこの資料の中、
0:10:12	6 切り分けて処理するようにコメントいただいておりますので、今ちょっとそのところがまだ名称であるんですけれどもこういう形の資料で説明させていただきますというところを記載させていただいております。
0:10:27	以上になります。
0:10:30	規制庁カミデです。
0:10:33	基本的に示していただきたいのは建物は何らか応答解析をずると思っていて
0:10:43	どこ応答を機電側に渡すってということだと思んですけど、どういう検討したときの応答機電側に渡すのかというところがフローなり文章なり、できればフローだとは思いますが。
0:11:01	15 ページのフローちょっとそういう解析の流れ的なフローでないのなかなか表現が難しいのかなと思ってまして、新たにフローで書くなり、文章で説明するなりですね。そういった形で
0:11:18	起電 5 と建物側のやりとりってということになってるのかということがわかるようになればと思いますので記載のほう検討いただきたいと思います。
0:11:33	はい。2 行目のイノウエですね、もし理解しました。⑦番の機器配管系の影響検討でこの資料の中では、
0:11:43	別資料でやりますというふうに飛ばしていつているんですけれども、そのどのいった号棟使うのかというところに関してキレート建物のやりとりの部分を書かせていただきたいと。
0:12:00	思います。以上になります。
0:12:06	規制庁カミデです。確認だけなんですけど、15 ページのフローだと。
0:12:12	影響評価ってこう言ってる中にそれを私が言ってるようなその応答解析がある入ってるんですかね。
0:12:22	はい。
0:12:27	日本語燃料です応答解析というのは、建物の応答解析をし、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:36	のことですかねその他綺麗な一基配管系への影響検討するための建物の応答解析という理解でよろしいのでしょうか。
0:12:49	はい、規制庁込みです私のイメージは
0:12:54	まずは建物構築物で2方向の応答解析みたいなやって建物で大丈夫だねって、そのときの応答綺麗に渡しているというようなことをやるんじゃないかなというイメージして話をしましたそうでなければそうでないで、
0:13:11	適切に設定表現いただければと思うんですけどそういうイメージ。
0:13:17	お話をしています。
0:13:21	日本原燃の上で正当なほどありましたあの建屋が
0:13:27	応答解析についてなんですけれども、そちらについては、このフロー図と言うと、⑤番、ひし形の丸5番のところで、
0:13:42	三次元モデルを用いまして、経営建屋に3方向入力のほうを行ってこの三次元的な共用による応答の影響があるかないか1方向入力の場合と3方向入力の場合で、
0:14:01	影響を見ますと、影響がある場合には、
0:14:06	下に、
0:14:08	いきまして、その機器配管系の提供というのは様々な
0:14:15	下のほうに行きまして07番では⑤番で出た三次元的な応答を用いて名そして機器起電さんの評価をやったという。
0:14:28	このでしたので、マル、
0:14:31	7の中で、応答解析やり直すとかっていうそういう認識ではなかったもので、そういったもののところ書かせていただこうかなと思っております。以上になります。
0:14:46	規制庁カミデですね、何となくを工程規定。
0:14:50	⑤番の判定基準ってとこに書いてありますか。
0:14:54	。
0:15:00	少々お待ちください。
0:15:41	日本海の上ですね運営。
0:15:44	バーンバーン基準としては1方向入力の場合の建家の応答と3方向入力した場合の応答を比較してない応答性状が著しくやってるから変わってないかどうかつつところ、
0:16:02	見るという整理に今しております。以上になります。
0:16:07	規制庁カミデです。そのことが本文上書いてないっていうことであれば、まずは各ひし形の判定基準みたいなところを説明あるべきかと思っておりますので、
0:16:22	確認の上記載を追記してください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:29	日本原燃においてですね、14 ページのほうにこのフレームの説明というところでこの⑤番の
0:16:37	3 人組総務部の審査というところの説明がありまして、2 段落目の検討においてはというところをここでは下線部のところですのでけれども、応答の影響ありとこれらの影響ありというのが 1 方向入力に対して、
0:16:53	3 方向入力、その影響があるねと判断した場合については、それをずっと下に進むというなしと判断した場合には、プロセスとしては影響がですね進むというところで記載しております。
0:17:10	はい、規制庁込みですわかりました 14 ページのやはりやはりですねここで応答の影響ありと判断した場合っていう
0:17:19	ことについて、何を持って協議と判断するかっていうところは、今回この部分も追記されているんですけども、もう少し丁寧に説明が必要かと思しますので、整理してください。
0:17:37	その後もイノウエ承知いたしました。はい。
0:17:42	規制庁カミデです。そうしていただくと結局最初に質問したですね機器側の応答をどうするんですかって言うところの
0:17:52	適切さみたいなのか単段見えてくるような気がして、
0:17:56	要は何をここで影響ありっていう。
0:18:00	の判断によって、
0:18:04	建物では影響ないんだけど、地域では影響あるんじゃないかと。
0:18:09	いうことを、が起こりうること今懸念してですね、影響の考え方が考え方だとさすがに聞きにも影響出ないよねという話であれば 15 ページの
0:18:24	⑤のフローで影響なしで評価終了ということにもなると思いますし、
0:18:31	建物ではそれでいいけど、機器側は、これはこれで振ってみないとわかんないんじゃないのっていう話だとフローの形を少し変えなきゃいけないんじゃないかというようなことにもなりますので、先ほど言った内容を明確化していただいて、
0:18:47	また確認させていただければと思いますのでよろしくお願いします。
0:18:54	はい、日本原電ウラバヤシです。承知しました。多分今おっしゃられていることをお答えになるかどうかなんですけどした案としまして、来建屋側と沖側でちょっと考えが違うというところで、応答についても例えば建屋の一次固有周期であったりZPAであったりの
0:19:14	応答値を使って建屋を評価するんですけども、機器側スペクトルを見て、当該機器の周期の考慮して設計を決まってるんだからあのZPAに限らずスペクトと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	両方合わせて大丈夫かどうかということもわかるように記載していけという趣旨でよろしいでしょうか。
0:19:33	1例ですが、はい。規制庁カミデさんの御理解いただいていると思います今のお答えですることによって検討を進めていただければと思います。
0:19:47	日本原燃のプレス承知いたしました。
0:19:52	規制庁、上出です私の方からとりあえず体裁的な部分について以上です。
0:20:01	規制庁ハウスですか。いいですかあとすみません、ちょっと今の15ページに関連することなので、ちょっと質問させていただきたいんですけども、
0:20:12	すみませんハバサキさんよろしいですか。
0:20:21	すみません。ちょっと今の15ページに関連してですけども、フロンなく下半分で影響評価という項目があって、④のダイヤと⑥のダイヤで当評価を行っているという流れはわかるんですけど。
0:20:37	これに対応する結果の説明っていうのはこの資料の中で特高であるんでしょうか。ちょっと私も見落としかもしれないんですけどまずあの説明されている箇所の教えていただけますか。
0:20:52	日本原燃の上で性
0:20:55	〇〇4については
0:21:00	この資料の中では、まず記載をしておらずで、添付資料のほうに記載の方さしていただいています。06については
0:21:13	別紙2の中で55ページを見ていただきたいんですけども、
0:21:24	55ページの目次の中の日報通路くうと3ポツ6、
0:21:32	についてそれぞれ面外の慣性力に対して株安らが持っているという、
0:21:40	建屋への影響の評価健全性への検討のほうを行っております以上になります。
0:21:51	石本です。まず⑥に対応するものが別紙2ということで具体的には2ポツ6と3ポツ6ということなんですけど、
0:22:03	例えば2ポツ6のほうは、これも方法の記載ということで、3ポツロックのほうに、その具体的な結論が、
0:22:15	入っておるということ。
0:22:18	理解しまして、そういうことですね。
0:22:21	すみません。
0:22:25	55ページのところで、認証
0:22:28	くれる人壁の
0:22:32	ん対する検討でL、この

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:39	すいません、1 ページ戻っていただいてこの 54 ページの別紙 2 の三次元 FEM モデルを用いた精査、これ自体は甘くてこの
0:22:51	フローで言う右のそれぞれの温度で次の話になっておりまして、
0:22:58	あと 3 ポツでぽつは株に対して 3 ポツはスクラビングに対して行っておりますと、
0:23:05	それ壁に
0:23:07	構成は同じなので、壁を代表して話させていただきますけれども、2 ポツ 1 と 1 は学力なんですけれども、2 ポツ 2 から 2 ポツのところ、ここの図で言うところの⑤番で一応孔と 3 方向の結果を
0:23:25	能力を結果を比較して応答への影響あるかないかというところをジャッジして影響ありということで 2 ポツ 6 で下の 6 のほうに進んでいるという流れになって、
0:23:38	おります 3 ポツのところスラブも同じながらやっています。以上になります。
0:23:46	キシノです。コーディングをした。
0:23:49	今後、これについては 2 ポツ 6 で結論があって、それを読み込む形で本文の中での説明っていうのはどこにあるんでしょうか。
0:24:03	はい。
0:24:08	4 号機の上で少々お待ちください。
0:24:34	日本原燃のイノウエです
0:24:40	30 物の層なんですけれども、
0:24:45	これこの図の⑤番の
0:24:49	1030 ページではなくて 28 ページのところ、(4)の三次元 FEM モデルを用いた精査による評価部位の抽出というところで、書いておりまして、
0:25:07	次、ずっとページのところ、まあ結論として、大体申請の建物構築物について抽出した結果、こちらの結果というのが別紙 2 の 2 ポツ 1 から 2 ポツ 5-1 事業とか 1 方向と 3 方向を
0:25:25	もうと比較して、
0:25:28	やった結果、
0:25:32	そういったものが行くということで、抽出しましたというところになっておりますので、
0:25:37	2 ポツ 63 ポツ 6 でそれぞれの部材に対して面外慣性力の評価を行った結果につきましては、最後の 37 ページのところのまとめで
0:25:49	違う断層のところ評価の結果をどう生かし申請建物構築物においては生乳声方向地震力の組み合わせに対して耐震性には逆算なくと確認者というところで記載のほうしております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:04	以上になります。
0:26:06	そのキシノです。何となくという環境わかったんですけど、まず 28 ページから 30 ページにかけてのご説明っていうのは 28 ページの(4)の見出にあるように、フロー図の⑤に対応する内容。
0:26:21	という説明かと思います。
0:26:24	さっき質問したのは⑥に対する結構ということで、それはというと 37 ページに、
0:26:32	評価の結果を確認したってな事によるこのようなのかなと思いましたが、結局、⑥に対応する説明というのは 37 ページのこの 2 行の内容等は別紙の内容どうにか読みとけば。
0:26:48	それに繋がるのかなということだと理解しましたが、そういう理解でよろしいですかね。
0:26:55	今後もイノウエですキシノさんのおっしゃる通りでございます。
0:27:01	氷もしえっとですね、前段のフロー図に関して②とか③とか⑤とか、この辺り本文中に先ほど 28 ページで御説明なっております紐付けられる取れるようになってきたんですけども、評価結果出る④とか⑥については、この資料。
0:27:19	この絵と紐づけ等あと結果との結びつきがまだちょっととても読みづらいというような状況もありますので、今御説明いただいた内容がすっと読めるような形で資料館のですね、紐づく今日御説明と明確にしていきたいと思えます。
0:27:36	あとすいません、④については添付書類でということだったんですけども、添付書類なんで、何も添付書類になるんですか。
0:27:48	燃料加工建屋の冷却塔の耐震計算書の中でということになるんでしょうか。
0:27:56	日本原燃の井上です。初めのフレーズの④と⑥でひもづけの行うという話については承知いたしました。
0:28:06	④の記載している添付書類については、燃料加工建屋等冷却塔の基礎の耐震計算書ではなくて、水平方向の計算書の中に記載のほうしております。
0:28:20	以上になります。
0:28:24	出張のキシノですごく凍りましたが、それと多分まだ現物は 12 月申請当時のものしか見てないということになるかと思えますので、そちら或いは脳の後日その修正版が出るのであればまた後日確認したいと思えますが、
0:28:42	本資料の中ではその添付書類Aの結構持って 37 ページの結論に結びついていのかと思えますので、その添付書類とのひもづけというのも明確にしておいていただきたいと思えます。
0:28:55	でないですね、今回のどっかの申請施設に対する評価結果というのが詰まるところ 37 ページのこの 2 行でしかほとんど読み取れないような状態になっ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	てますので、どこ見ればその詳細がわかるのかって言うのはちゃんと明確にしておいていただければと思います。よろしいでしょうか。
0:29:13	日本原燃が多いです承知いたしました対応いたします。
0:29:18	はい。よろしくお願ひいたしますすみませんあともう1点なんですけど、26ページ27ページに部位を抽出している途中経過の整理表が、
0:29:34	ありますけれども、こちらのほうを見ますと、
0:29:41	評価が必要な部位については、
0:29:43	例えば26ページの表でいくと、①-2行で書いてあったり、マルチ-2よう学校プール側壁、デブリまで書いてあったりするものもあれば等ありましてちょっと書き分けをされているようなこと。
0:29:59	一方で評価必要がないものについては該当なしだったり、ハイフンだったりするんですが、それぞれ書き分けている教えていただけますか。
0:30:12	ロームイノウエです。
0:30:14	切ってますでしょうか。
0:30:17	うん。
0:30:21	特殊な私の質問は聞こえたでしょうか。
0:30:25	該当なしと-倍の書き分けについてなんですけれども、1718ページでこちらで建屋の
0:30:38	同様の構成整理しております、例えば今回の木製ですと、これ部位があるところについて評価なくていい場合には、
0:30:52	26ページは該当なしというふうに書かせていただいております、フジタがないところにつきましては、17ページでバーの表記にしております、それを
0:31:04	26ページでも投書した場合のほうにさせていただいているので、ちょっとこの、これも反応のところでもバーのところとあと、
0:31:14	その該当なしのかけの部分についてちょっと追記させていただきたいと思ひます。
0:31:21	起こりますと、今のその該当なしとハイフンの考え方っていうのは、33ページ34ページの表、
0:31:33	もっと違う表記になっていて、不用ないしは配布になってるんですけど、これをもっと意味合いが違うということで該当なしにできなかった。
0:31:43	やっぱり言ってるわけですか。
0:31:45	すいません。こちらは、すいません。修正漏れですねちょっと前回までは
0:31:54	その図を変えた結果カーというところでこちらの散歩通4-7の表もちょっと一部変えないといけなかったんですけどもそこがまだできておりませんでしたので、最終的にはこちらの不要のところも該当なしとわかるの。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:11	26 日と同じような記載になるというところがございます以上になります。
0:32:17	当直主任も加わりました。先ほど 26 ページのほうだと必要な部分については、②-1 って書いたり、ようですか、②の位置を変えたり、そのあと鈍い目をつけたりするような記載もあります。
0:32:34	ここで 33 ページ 34 ページのほうは、
0:32:37	よう括弧ピット側壁とかの部位をつけたり、バルブの位置国庫クレーン室って入ったり課長血流これはどういう考え方にに基づく
0:32:49	はい。
0:32:50	日本側のイノウエですちょっとこの 3 ポツ、4-7 のところが、
0:32:57	前回のフロー図に引っ張られたままで修正のほうをちょっと
0:33:04	漏れていたんですけども、
0:33:08	前回のフロー図ですと、
0:33:13	今の状況等二股になってるんですけども、前回のフロー図と 1 回離れたものが後でがっちゃんこするという感じに
0:33:22	なってます、以前はこの 2627 ですくあの抽出箇所のところについて、
0:33:33	もう抽出しますよという意味で、例えばピットの壁とか、プールの底樋とかっていうのを書いておったんですけども、今の、当然安全に蓋が他に。
0:33:43	やっているんで、こちらのほうが全部
0:33:47	外筒な視点を評価するのであれば、その旨を書かせていただいて、例えば 2 ②-1 のピットの側壁または該当なしとか、それから粉じんKawaseいただきたいと思っております以上になります。
0:34:04	時といいますのはわかりました。まだちょっと記載については整理漏れがあるということなのでまた次回修正されたものを確認させていただきますけれども、26 ページ 27 ページの中にもですね、その評価必要な部位についてもV名を書いたり書かなかったりといった、
0:34:22	ちょっと
0:34:24	違いもありますので、それ書き分けた考え方があるのであればですね、中期欄にですね、その意味するところ、或いは書き分けた理由っていうのをですね、明確になるように、次回修正しておいていただければと思います。私からは以上になります。
0:34:41	日本原燃ISA手法を理解いたしました。
0:34:45	修正のほうです。
0:34:50	規制庁ハバサキです。いいですか私のほうからちょっと今回新たに追加された内容について何点か確認したいと思います。
0:35:00	最初は記載だけの話なんですけれども、98 ページから、これ指摘した。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:08	ことに対して、一応今回回答ということでこれ室の天井スラブについてですね、当検討結果を示していただきます。
0:35:20	それで、ちょっと確認者が101ページの結論のところですね、来結果の説明のところ。2段目の文書パラグラフのところ、中ほどですけれども、
0:35:35	加速度応答比率を保守的に設定していること等を勘案すれば、結果的にその天井スラブは影響される部位ではないと。
0:35:45	影響が想定されるべきじゃないというのが、の文書の
0:35:49	結論なんですけども。
0:35:51	保守的に設定しているっていうのは具体的にどうということ。
0:35:57	言われてるんでしょうか。まずその点説明してください。
0:36:10	今後の少々お待ちいただけますでしょうか。
0:36:31	すみません、六名のイノウエです。ちょっとこちらの文章に強いですがけれども、横柄
0:36:41	文章ちょっと作るときに
0:36:45	前のこちらのところから持ってきたというところがありまして、今回の検討のやり方からいきますと、
0:36:56	応答比率というものを割と目立ちベースで持ってきているところがあって必ずしもおっしゃるように保守的に設定しているとはちょっと言えない部分がありますので、こちらのほうは削除させていただきたいと思っております。以上になります。
0:37:11	規制庁ハバサキですし、見たような検討っていうのは、実用炉でもやってるっていうのはご存知だと思いますので、まさにこういう構成で、こういう文章系、資料送っているんですけども、
0:37:26	実際やってる内容はそんなに変わるものではないので、保守的ではないというような話が今回回答あったんですけども、そんなことないんじゃないかなというふうに思ってますね、例えば赤ちゃんの駅なんかですと、実際は最大加速度の絶対値という危険とか、
0:37:45	保守的なモデルを採用しているから、それを勘案すれば云々っていう形になってますので、ちょっと
0:37:53	実際やられていること、それとここに書かれている文章はですね。はい。
0:37:59	聞こえたらちょっと説明できるような資料にしてもらわないと、ちょっと今後、
0:38:07	こちら確認する上で大変ですのですね
0:38:11	今言ったような箇所の基と同様なことを趣旨を御指摘ということでまとめたのか、或いは先ほど説明があったように実際保守的ではないと考えられるならそ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	れ削除してもらって参りますのでですね、ちょっとそこはしっかりと対応してもらいたいと思います。
0:38:27	それを前提になんですけども、基本的に 98 ページからの検討っていうのは増してきました。嬉野天井についてメガ横坑の命令に対してもどうですかっていうことで検討し、
0:38:44	結果が 99 ページの図にありますように、中央部では約 3.3 倍程度の割増係数になりますと、
0:38:53	結果的に 101 ページにあるのは、その割増係数を考慮しても、検定比は収まっていますっていう、そういう流れというふうに理解してます。
0:39:04	まず、その中ではよろしいでしょうか。
0:39:11	日本原燃において使うだろう、そういう流れで問題ございません。
0:39:16	規制庁甘酒そうしますとですね 96 ページごめんなさい、98 ページ、青なさい。
0:39:27	96 ページ 7-96 ページも行っちゃいかようにも書いてありますように、
0:39:33	これ人天井スラブについては特性モリノ 1 日今回答するということで抽出することになったかという結論ももとにこの検討されているわけで、そうすると、結果的には耐震性への影響はなかった。
0:39:49	というのが結論なんですけども、一応部位としては考えられたというふうに理解してます。
0:39:54	そうすると、101 ページの先ほど言った説明しました 2 番目のパラグラフの文章がですね、結果的には無理ではないというようなことになってそれでちょっと混乱してしまって、こちらからアプリにすることになりました。
0:40:10	で、この
0:40:12	文書に関しても、
0:40:14	先ほど申しましたように、
0:40:16	例えば、
0:40:18	最近ですと、課長だけだとか、或いは等にの該当するところの文章と若干違ってらんですね、耐震性の影響がないことを確認したということで、差異を終わっていますので、
0:40:34	そこを何であえてこう
0:40:36	先行炉と違うような表現されたのか何か意図もあるのかなというふうに思って確認をしました。で、別に施行に絶対合わせろ合わせるべきという話はするつもりは元もないんですけども、
0:40:51	やはりこの文章一つについてもきちんととつと説明できるような形でですね、責任を持った形で文章を構成してもらいたいというふうに思いますので、よろしくをお願いします。よろしいでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:07	承知いたしました。
0:41:10	規制庁ハバサキですあいいですか。二つ目です。資料 163 ページになりますが、
0:41:18	これは分離建屋を対象としてシミュレーション解析、地震観測のシミュレーション解析がNmとSRと比較をしてあってないということで、こちらから指摘をしまして今回、
0:41:38	三次元のモデルについては配当壁と床の接合部に関して合意今日設けて
0:41:47	応答解析をして
0:41:50	結果が 165 ページにありますように、FEMのスペクトルが若干ですけども下がった量はshallとか観測記録に合ってきたということで説明がされています。
0:42:03	個目幾つかお聞きしたいんですけども、まず、163 ページの中程ノーに文章ありますけれども、この 0.25 秒付近のピークを一等はロッキングの影響というふうに考えてますけれども、
0:42:20	それ例等ロッキングの影響って言われると、それはどっちかという建屋をのモデル化の話ではなくて、地盤ばね、例えば、今これはもともとの地盤、
0:42:37	既設工認時の地盤だと思えますけれども、
0:42:41	いや直下地盤での条件でやったらどうなのとかですね、或いは、これもご存知だと思いますが先行炉でやられてるようになりますね。
0:42:51	表層部分の側面ばねを外したらどうなのとか、或いは側面の回転ばねをつけたらどうなのかという検討を対処すると思うんですが、
0:43:02	今この分離建屋については、ロッキングの影響といいつつそのような検討はされているのでしょうか。いかがでしょうか。
0:43:14	2 大粒のイノウエです。先ほどのご質問についてなんですけれども
0:43:22	回転ばねをつけた検討というものは一応裏では、
0:43:28	わかるんですけども、/hくらいでやっております。以上になります。
0:43:34	規制庁ハバサキです。
0:43:37	地盤条件については確認しますけれども、これは建設工認時の時間条件
0:43:42	でよろしいですか。
0:43:51	はい、設計でございます。
0:43:56	規制庁ハバサキです。
0:43:59	先ほども申しましたように、もちろん勤務の影響と言うならば、まずは、先ほど言った地盤
0:44:06	ばね。
0:44:07	の方を

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:09	何らか、その地盤物性も含めてですね、手を入れるべき、検討すべきというふうに考えますので、
0:44:19	日当ちょっと今のこの状況では納得しかねないところがありますんでというのはですね、ちょっと先の話をして、まずこのAB建屋も合意機器についてちょっと説明をしてもらいたいんですが、
0:44:35	157 ページから平面図上に示された防域と今回した領域というふうに理解してよろしいですか赤の合意設定範囲
0:44:49	日本語にoil先鋭三通りでございます。
0:44:53	中期ハバサキではそうすると、例えば 157 ページですと、
0:44:59	マルAと6通りと7通りの間って、EからN-3の所でこれに名称がすべて棒域設定になってるんですか。
0:45:13	多分その通りでございます。
0:45:17	吉ハバサキ技術、これ実際の壁今1m以上対象とすると書いてありますけれども、実際の壁ってこんなメッシュ圧ほどあるわけではないと思うんですけども、そうすると5域の設定っていうのは、この赤の領域を、
0:45:33	どういう形で御意見してるんでしょうか。物性値を変えるだと、拘束条件変わるとか、いろいろやり方と思うんですが、具体的にはどういう形で処理されてるんでしょうか。
0:45:43	鉛直方向のみかたくしているという認識でございます。鉛直方向の剛性だけ隠しているというところでございます。
0:45:55	規制庁浜崎です。これ30年度、FDMの様相で、例えば破りとかあればいい情報だけじゃなくて、そのパートにも調整して、鉛直成分だけが硬くなるような物性値で、
0:46:13	ご意見を設定しているという理解でよろしいですか。
0:46:17	材料物性というよりかは
0:46:22	部材の
0:46:23	ちょっと少々お待ちください。
0:47:07	そう。
0:47:16	ちょっと、
0:47:26	それでちょっと確認させていただけますでしょうか。
0:48:50	多分のイノウエですけども前後しました。うん。
0:48:55	材料物性を上げるというか
0:48:59	プログラム上の当面外共同に対する合成の比率というものを大きくして人が報告に対する結果的に固くするということでございます。
0:49:17	規制庁ハバサキです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:20	また上で今回はどういうやり方で、それも面外方向だけの剛性が上がるような形で域設定しましたということは説明を詳細決まりたいなと。
0:49:34	あとそうするともう 157 ページの御域の図面と 146 ページが同じレベルかと思えますけれども、これマスキングなんで中身については言えませんけれども、
0:49:49	必ずしも一致してないように思うんですけども、その辺りはないか。はい定義といいますか。メッシュに合わせた形で御域を設定したとか何かそんなようなことで使用されてるんですか、157 ページのご意見設計についてですけど。
0:50:08	日本原燃の井上です。このご意見の設定をする際に、
0:50:17	十分
0:50:19	方向から見れるところやるっていう観点と、あともう一つ
0:50:24	ちょっとやり過ぎないというところがありまして、
0:50:32	条件の通りの 1m 以上のあれでやってしまうと、この
0:50:38	分離建屋のこのセルのところっていうのはかなり
0:50:42	ピンク色の補訂しまつて、それがちょっとやり過ぎなのじゃないのかなということも踏まえて、少し日旅行せるもの塊の全体としては阿蘇の外周 5 グリットを設定したという。
0:51:00	これになっております。以上になります。
0:51:04	基準ハバサキです。例えば 157 ページの先ほどのお話ですと、鉄塔H高校についての剛性をファームウェアない車両な渠要件にしたということですか、水平応答に関しては影響がなくなるということですか。
0:51:23	日本原燃の井上です。今回壁と
0:51:29	有価な溶接ホームに対してごい気づけたというところでございまして、ナカムラが年額方向に押される、
0:51:38	水平方向のところについては、
0:51:40	固くするのは違うんじゃないかというところで、水平方向の剛性に関しては何も変わっておりません。
0:51:48	以上になります。規制庁ハバサキです。わかりました。いずれにしてもこの合意書ってしたっていう話はですね、これポイントになるのですね詳細な説明をしてもらいたいと記載のほうをお願いしたいと思います。
0:52:02	ねえ。
0:52:03	何でそんな話をしたかということですね、222 ページ、これ。
0:52:09	PA 建屋の支援要綱返却突き合わせの最終的な結論のところになります。
0:52:18	ねえ。
0:52:19	その結果を見るとですね。
0:52:22	人意見モデルの最大応答値って、これは当然直下地盤条件になってるので。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:28	以前の平均地盤今検討して、一番により前にですね大きくなってます。
0:52:38	ただ、応答補正後が、
0:52:40	そんときよりも小さくなってのわけですね。なぜかというとその応答補正係数比率
0:52:47	この辺りが
0:52:49	以前のこの資料乗り場所三番要は平均地盤でやってたときの、或いは建屋モデルですと、ご意見を考慮してないというふうに比べると、
0:52:59	この比率がかなり小さくなったわけです。
0:53:02	それではないように導くかという、今回のモデルって三次元応答性状がなるべく出ないようなモデルにしているということですね。
0:53:12	それってこう評価をする上で、本当に妥当なのか。
0:53:18	あと一つならばそのご意見についてしっかり説明をしてもらわないと、今こういう結果では、
0:53:24	私としては認められません。
0:53:27	何か贈呈に関して考察当行はされてますでしょうか。
0:53:35	日本原燃の伊藤です。
0:53:41	当資料のウェイ。
0:53:48	ちょっとお待ちください 209 ページ。
0:53:52	弟組成比率つうこちらの α パートデータで算出して、
0:54:02	やってるんですけども、やるサーバー1 方向入力と3 方向入力の比率になっておまして、漂流データが 213 ページにあるんですけども、支店勤務形態をモデルと建屋模擬モデルの
0:54:18	応答比率ですとか前回から今回から
0:54:25	このご意見に設定をしたというところが一つ違いじゃちありまして、あと地盤条件が直下地盤になりましたと
0:54:36	直下になっていることを
0:54:39	副産物であるんですけども直下ではないんでは、Sのばねを切っているの、その部分も違うところになっているのかなというふうに考えております。
0:54:52	この 209 ページのところで
0:55:00	前回の病院業務の場合ですと、この切片番号の 5 万 3941 っていうところが
0:55:11	比率としては 1.20 ぐらいだったんですけども、今回. 05 になって音下がっていると
0:55:20	これについては前回のところは一応高校の比率が 770 ぐらいで、
0:55:27	3 方向の
0:55:31	香川 900。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:33	2310 ぐらいで比率が 1.2 ぐらいだとか、それが今回、
0:55:39	846% 定格 8801.05 になっていると両方についてなんですけれどもハバサキさんがおっしゃられるように、
0:55:51	号機を行うことによって、対多数建屋が難くなるほうに動いて三次元応答が出にくくなっているというところはあるんですけれども、おばねを切って直下にしちゃった場合には切ったことによって、そもそもの 1 方向入力の層が
0:56:09	分母のほうが課題になってきておりまして、軒並み α が下がっているというところは、PAR するところでございまして、
0:56:19	今回応答補正比率自体を見ると下がっているというふうに我々考察しております。以上になります。
0:56:30	規制庁浜崎です。ALPHA それから β に関しても、ほとんどその点というのはすべて確認しました。それと地絡急騰 β の建家の上部に行くほどですね、下がってる傾向が見られてます。
0:56:46	今の話 01 方向の影響も確かにあるんですけれども、明らかに例えば β_m 下がった分、
0:56:57	系列西上がりの比率で下がってますし、トータルとして、この棒域を設けるっていうことが産地で落とす以上大して適切なのかどうか。
0:57:10	ですね、おそらく先方でも、こういった検討で三次元のモデルを域を設定してる例ってないと思いますし、
0:57:21	私が言いたいのは、まずシミュレーション解析で合わせる合わせないためには、合わせるためには、
0:57:31	ロッキングなり、その間も強いんならば、それをまず地盤系或いは入力のほうを検討すべきじゃないかということで、それでもやはり駄目だったら、
0:57:44	建家のほうに目を向けると、そのときには、この 5 域の設定っていうのは、先ほど何か
0:57:51	過剰にならないようにとかいう話をされてましたけれども、その販売でして決めるのではなくてですね、そこはちゃんと説明ができるご議論設定。
0:58:03	対象領域についても分岐の設定方法にしてもですね、それを説明してもらわないと。
0:58:09	今のこの結果では予算事業と性状として非安全側のモデルにして評価して OK でしたと言われても、これでは私は認められないということになりますので、ちょっとどういう方向で、これは資料まとめられるのか、ちょっと検討いただきたいということ。
0:58:28	ちなみに、分離建屋については今ほかの地震での周レーションとかもやられてないんですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:42	今月連絡入れさん
0:58:44	まず三次元モデルの
0:58:48	前につい号機の件についてはちょっと検討させていただきますが一応
0:58:57	大飯のほうで時図形要因がありましてそちらの方ちょっと参考にさせていただいたところがございますので、当分離建屋のほうのほかの波でやってるかということについてはちょっと
0:59:13	ちょっと持ち帰らせて検討させて確認させていただきたいと思って。
0:59:18	おります。だとロッキングの分離建屋について、ロッキングの影響というところで、
0:59:28	側面回転ばねというのはもうどうが出てきてます。実際に我々もちょっと売れるやっちはいるんですけども、先行の柏崎ですと、
0:59:43	i. までの導入に結構その伸長なんていうか、いろんな実験とかをされて、その妥当性を示した上で導入、
0:59:54	だから、
0:59:56	すいません。ちょっと該当者がおります。日本原燃ウラバヤシでございます。今回
1:00:04	観測記録のシミュレーションですので、ロッキングということで地盤の条件、御苦勞我々原燃サイトで観測した入力に対してどうなのかという考えますと、当柏崎さんのような大入力時の回転ばねということにデリケートならずとも、
1:00:22	実態として弾性領域の中で特化実態としては見れたんではないかということもありますので、そういう地盤系のばねということも含めて当検討ちょっと進めてみたいと思います。以上です。
1:00:37	いいですか。規制庁ハバサキですちょっと私ここ神経と漏らしているのはですね、結果的に当時名称にある意味、合わせるために建屋のFEMモデルの条件を変えたんで。
1:00:51	その結果要は今回燃料加工建屋の三次元モデルについても御ご協力を設定しているわけで、今後、再処理施設で新設される建屋に関して同じ検討をこれから
1:01:07	幾つも出るわけですがすべて5域を設定することになるわけですよ今この流れからすると。
1:01:15	ねえ。
1:01:16	その根拠として、今回AB建屋の結果出てるんですけども。
1:01:22	特に好条件状態ではAB建屋についても、もう合意機器設計で評価するっていうことが妥当っていうかな。ちょっとこれでわかりましたっていうわけにはいかないというのが私の印象ですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:40	この工事開口も同じことを今からこれやられるわけですよ。
1:01:46	そういう認識ですよ。
1:01:51	日本原燃の有です条件そろいということで、このままでいけばそういうふうになれると思います。
1:01:59	規制庁ハバサキ月ウノそういった面で非常に危惧を持っていますので、先ほどウラバヤンさんが言われたように、今のシミュレーションのところを地盤系で或いは入力系でそれでも駄目なら建屋系でという形で、
1:02:15	きちんと説明していただいた上でご異議がやはり気になるんならば、その領域に対して本当に妥当なのかどうかというところをしっかりと説明していただきたいというのが私の趣旨ですので、よろしくお願いいたします。
1:02:33	日本原燃イノウエ承知いたしました。
1:02:38	委員長ハバサキです。私から以上でございます。
1:02:50	イトウ、規制庁の武田です。
1:02:52	こちらの観測記録に関するところに私も1点確認させていただきたいんですけど、164ページをお願いします。
1:03:09	はい。
1:03:12	そうですね。またから始まっている辺りなんですけれど。
1:03:18	鉛直動の0.06秒の増幅が床の開口によるものというふうな記載がされているんですけど、事象進展設計評価
1:03:31	6、167ページですか。
1:03:35	ここで観測点の位置に置き of 三次元の解析で載せておると。
1:03:43	観測記録してんの記録とか比較がされているんですけども、
1:03:49	これを見ると、観測位置での三次元の結果というのは跳ねているんですけど、失点系も跳ねていってそれでいて観測記録跳ねていないという結果になっているんですけど。
1:04:02	どこの結果を見て、
1:04:05	床開口が0.04秒ではねる原因になっていたちょっと思えないんですけど、どのようにお考えでしょうか。
1:04:35	少々お待ちください。
1:05:36	その結果、すいません。
1:05:40	まさに御ツガネイノウエです。日本原燃のイノウエです
1:05:44	貢献ずっと入力のところとの兼ね合いがあるかもしれないがませんでちょっと持ち帰らせて検討させていただきたいと思うんですがいかがでしょうか。
1:05:54	規制庁の武田です。はい。そうですね先ほどハバサキからもあったように直下地盤で用いたらどうかとか、そういった結果はあるかなとは思っておりますの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	で、持ち帰って、併せて検討いただければと思いますので、お願いいたします。
1:06:14	承知いたしました。
1:06:16	ボンベにおいて承知いたしました。
1:06:26	規制庁の武田です。2003年今回新しく追加されたところではないんですけど、
1:06:37	断面算定の動向の被水認識たいんですけど。
1:06:44	ちょっとページが85ページお願いします。
1:06:53	ところのワードですね原因の面外の加重に対しての断面算定結果かと思っ ているんですけど。
1:07:04	これで
1:07:06	この排気んですね、例えば通りの壁だと2-D35-201というふうに記載がさ れております。おりますけれども、
1:07:18	まず横のですね、下面の評価に用いている幅野有効幅ですかね。それが何m なのかということと、
1:07:30	それで発生最大曲げモーメント、
1:07:34	変動や動線435点あるんですけど。
1:07:38	何名査定用いている有効幅とこの発生最大モーメントっていうのは、対応のと り方カバーになっているのか、口頭説明いただけるでしょうか。
1:07:56	日本原燃の井上です。
1:07:59	壁の所断面算定上の要求に遮断としては、その廃棄の上のところの1220と 710.6によるもの。
1:08:14	わかりました。
1:08:17	今おっしゃってるのは、これは梁性だから、アクサはですよ。
1:08:23	はい。
1:08:40	すいません岡部のナガサワというところですか。
1:08:46	はい、規制庁だけですとかそういうことです。
1:08:52	設置いたしましたのでそちらについては、
1:08:58	この察知人中、
1:09:04	85ページの壁の評価においてはこの荷重をFM上で入れたときの力でやって おりますのでちょっとそこのほうの記載を書かせていただけてかつな
1:09:16	何だ壁のモデル化上の計算上の長さというか、そういったものをあわせていた だきたいと思います以上になります。
1:09:27	規制庁の武田です。わかりました。ではその辺ついきたんじゃう。
1:09:31	4 お願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:33	三鷹に
1:09:36	一つのスパンで3名襲来などで3メートルぐらいの要素なのかなと思うんですけどまずし、その分の幅を見込んで断面算定しているというふうに理解はしていますが、それで正しいでしょうか。
1:09:55	今おっしゃった幅って、MOへえ。
1:10:01	横コサクかなというところでしょうか。
1:10:07	規制庁竹ケ原です。はい。パック3ではなくて、幅です。
1:10:30	名簿において設置いたしますそちらのほうも整理いただきたいと思います。
1:10:36	規制庁時にはですね。はい、お願いします。
1:10:43	私から確認以上ですが、そのほか成長がばら閣議ございますでしょうか。
1:10:51	規制庁カミデです。ちょっと途中聞いてなかったところもあってもしき先に聞かれてたらあれなんですけど。
1:11:03	例えば、
1:11:09	ちょっとすみません資料が出てなくて、26ページとかで、
1:11:18	スクリーニングの結果だと冷却塔の基礎で、
1:11:23	基礎スラブについてよってなってるんですけど。
1:11:31	この補足説明だと、燃料加工建屋とかの話はあるんですけど、冷却塔の話の特になくてその添付で、
1:11:42	補足説明資料の添付で、
1:11:44	示すものはどう考えているのかっていうところを端的に言うと、なぜ冷却塔の話がこの資料に出てこないんでしたっかって話なんですけど、ちょっとその辺り説明いただけますか。
1:12:02	日本原燃の井上ですがその報道のところですけども、
1:12:09	冷却塔につきましては今回等やって検討対象としての基礎というところのものでペラ1の
1:12:19	の構造物になっておまして、三条さん34Dの三次元的な応答特性に対するプロでなそういったカメラTRACEというところもあって、付与というところにさせていただいております。
1:12:39	この資料の
1:12:42	構成としては、本文が抽出の
1:12:46	所の話になってまして、別紙2項があるとこ三次元によります話になってきておりますので、冷却と実はちょっと登場してないということになっております。以上になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:04	規制庁込みです御後任はした基本的に添付説明しなきゃいけないと思っこの 3334 の三次元的な応答特性というところではようになったものをつけるつもりで
1:13:21	先ほど前のところ。選定されているものは経産省に補足して説明すべき事項はないってそういうことなんですかね。
1:13:47	農業において山王その理解で補足で説明することになるので、縁部だけというところ。
1:13:58	規制庁カミデですを終わりました善し悪しは別としてまずあれこの 37 ページのまとめのところ、そういったところをとりあえず書いてもらえればと思っましてこれこれについては、添付に示しますと、
1:14:19	前半の部分を三次元応答も多分申請書に申請書の添付でこういう説明しますと、さらに 3 事業等については本書の添付で説明するみたいな形でちょっとそういう、
1:14:35	考え方を変えていただければと思いますので、よろしくお願いします。
1:14:42	日本原燃の承知いたしました。
1:14:51	規制庁タケダです／規制庁側からございますでしょうか。
1:15:00	よろしいでしょうか。
1:15:03	もうよろしければ、日本原燃のほうから保証についての修正方針とマスキングの部分について確認をお願いいたします。
1:15:15	日本原燃日本原燃の井上です。修正内容としては、本文のところですけども、まず起電等基地配管系への影響検討のところ起電と建物の通んやりとりのところについて、
1:15:35	核というところであと、次回の文書の構成として、次回のところについて、
1:15:46	ほかの計算で補足資料と大間と合わせると、
1:15:53	あとが、その結果について、どこに記載がされているのかという紐づけのところを行うというところが主なコメントを修正。
1:16:06	項目になっておりますので、
1:16:08	没水し、
1:16:10	人を三次元FEMモデルを用いた
1:16:16	生産のところにつきましては、
1:16:21	85 ページの下での評価のところにつきましては、壁の長さ、幅のところについて、再利用性というところを、
1:16:32	最後の参考資料のところについては、学ぶモデル名を設定上、
1:16:39	設定条件とかロッキングの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:43	影響ということであれば、今地盤の物性のところからアプローチをしてみるとい うところを、あとご意見の設定については、本当に作用するのであればその妥 当性について、丁寧な考察を加え、
1:17:00	行くというところになっております。渡す開示情報の発言はありませんでした。 以上になります。
1:17:07	すみません、1点、運営。
1:17:13	届きましてください。経営本部の方について、
1:17:16	町長の該当なしとbarのところの使い分けについては記載させていただきます す。以上になります。
1:17:31	規制庁タケダです。ありがとうございます。
1:17:35	本町予定していた議題としては以上になりますが、
1:17:40	規制庁側から全体応答して確認事項や連絡手法ございますでしょうか。
1:17:51	キリングroupからですけれども、今日の説明もですね。ちょっと回答に時間 がかかるような場面が昨今多くて、なんかしてきてるんですけれども、きっちり この部分ですね、回答できるようにするっていうのがいいですし、
1:18:07	資料のほうもちゃんとこちら求めてる内容を記載していけばフジノに伴い、こち ら質問することないとなるんで。
1:18:17	これまでもできるように、結果だけでなく、カーテン含めてですね、資料の内 容を充実させて、ヒアリングの場できちっと説明式のポンプことを心がけていた だきたいんですけれども、やはり心配。
1:18:35	日本原燃ないです。申し訳ございません。そのようなことがないように準備い たします。
1:18:43	一つがです資料についてもですね、当然この日までに出すというスケジュール も出された上で対応してきているはずなのに、月曜日に出されるはずだった手 話か用語直撃とかですね、全体的に
1:18:59	進捗状況の管理評価がまだちょっと危ういといいますか、かつでてきたもの についてかなりできたらいつ確認しなければならなかったって言うてることがある んで、資料のすみません。
1:19:10	作成についても実行していただきたいんだとスケジューリングですね、こちら もつけてるんで、変わりましたって、それで結構なんですけども、当然我々も質 問準備があるわけで、
1:19:25	機能強化されたもののヒアリング確認というわけにいかないと、きっちこのス ケジュール管理していて、対応していただきたいと思いますが心配。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:39	日本原燃の藤井です。資料作成なかなか遅れてる部分あるんですけども、ちゃんとスケジュール通り、このコントロールできるように対応していきたいと思 います。よろしくお願いします。
1:19:52	ちょっとウノです今日は委員会でも多分今回搭載しております。特徴点につい て、そしてここなんですけれども、委員長が行った結果があるんだっていう話も 当然ですね、こちら生活つもりはないんですけれども、
1:20:08	きちっとした説明を失念をしていただかないとなかなかこの積進まなくなるとい うふうになるのでよろしくお願いします。私から以上です。
1:20:25	規制庁の武田です。
1:20:28	もうちょっとスケジュールに関する事なんですけれど、資料の提出が来得るこ とが結構あるかとは思うんですけれど。
1:20:39	二、三日度が遅れてしまいますとヒアリングまでに確認する時間っていうのが 本当に取れなくなってしまうので、
1:20:49	ヒアリング翌週にヒアリングを予定しているような資料の提出が遅れる場合 は、その資料のヒアリングで何か誘導するのとか、そういったところもです ね、あわせて連絡をしてくださるようお願いいたします。
1:21:04	津波の基準ですはい。遅れる場合にはそのような考え方や異常示す三つの点 についても補足できるように、資料を提示したいと思います。
1:21:17	タケダですお願いします。／規制庁側で何かございますでしょうか。
1:21:24	規制庁カミデです私の方からも念のために一言言っておきますけど。
1:21:30	送れる際は連絡をとかと前の会フジノさんの回答だとスケジュールに間に合う ようにというかスケジュール通り出せるように頑張りますみたいな話でしたけ ど、一番足りないのは、
1:21:46	適切なスケジュールを。
1:21:48	組むと、作業をちゃんと山積みをして、いつまでに何かできるかだから、この日 に出せるっていうことを
1:21:58	間違えてないんじゃないかなと思う言いますので、
1:22:03	出しゃスケジュールを守るっていう意識をもちちゃんとしたスケジュールを立てる というところに意識を持ってですね、対応いただきたいですし、各大変当然そ の辺を事務局の方と各担当の方といろいろあると思うんですけど、
1:22:19	そのきちんとですね、やるべき仕事は何があつと。
1:22:24	いうところからちゃんとスケジュールリングしていただければと思いますので、よ ろしくお願いします。
1:22:32	その南にありますはい作成側とも調整しながら、スケジュール調整していきたい と思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:43	その他慶弔側から何かございますでしょうか。
1:22:49	よろしいでしょうか。日本原燃から何か連絡等ございますでしょうか。
1:22:57	日本原燃側からは特にございません。日本原燃の藤野です。
1:23:02	一応タケダです。わかりました。それでは本日のヒアリング概況とさせていただきます。お疲れ様でした。
1:23:09	ありがとうございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。